KENWOOD

DVD ホームシアターシステム

DVT-6200

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

ご使用の前に、「安全上のご注意」（4〜7ページ）を必ずおよみください。

B60-5385-08 00 (J) OC 03/04

特長

この説明書では次のようなマークで、DVD、ビデオCD、またはCDで使用できる機能を表しています。

DVD :DVDで使用できる機能を表します。

VCD :VCD（ビデオCD）で使用できる機能を表します。

CD : CDで使用できる機能を表します。

DVD **S-VHSやレーザーディスクを越える高画質**

DVD **音楽CDよりもサンプリング周波数が高く、高音質で楽しめます**

DVD VCD CD **オンスクリーンディスプレイ機能**

DVD **DVDならではの多彩な再生機能**

DVD CD **DTSデジタルデコーダー内蔵**

DVD VCD CD **ドルビープロロジックII デコーダー内蔵**

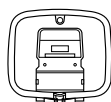
CD **MP3、JPEGファイルの再生が可能**

付属品

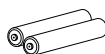
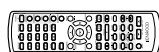
次の付属品がそろっていることを確認してください。

FM 室内アンテナ .... (1)

AM ループアンテナ .... (1)

ビデオコード（黄色） .... (1)

リモートコントロールユニット ... (1)

リモコン用乾電池（単3） .... (2)

スピーカーコード .... (6)

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

もくじ

⚠ のついた項目は安全確保のために必ずお読みください。

準備編

操作編

その他

レーザー放射に関する注意表示

CAUTION
VISIBLE AND INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. DO NOT STARE INTO THE BEAM OR VIEW DIRECTLY WITH OPTICAL INSTRUMENTS.
DO NOT PRESS ON THIS SURFACE

本機は「クラス2」に分類されるレーザーダイオードを内蔵しています。レーザー光線を覗きこんだり、光学機器を通して光線を直視しないでください。
これに関する上記注意ラベルは製品内部にあります。
ラベルの位置: DVDレーザーピックアップ装置カバー

安全上のご注意

⚠ この頁は、感電や火災からあなたを守るため、ご使用の前に必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります）

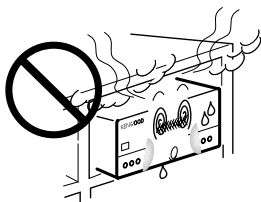
交流100ボルト以外の電圧では使用しない

この機器は、交流100ボルト専用です。
《交流100ボルト以外の電圧で使用すると、火災、感電の原因になります》

放熱に注意

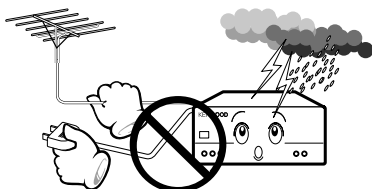
設置の際は、壁から10cm以上離してください。
機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔です。ふさがないように、ご注意ください。

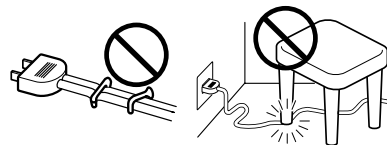
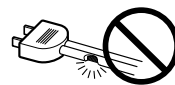
- 風通しの悪い、狭い所に押し込まない。
- 横倒し、あおむけ、逆さまにして使用しない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上において使用しない。

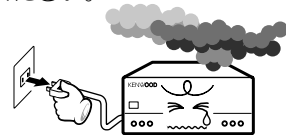
通風孔がふさがると、内部が異常高温となり、火災の原因となります。

風呂場では使用しない

風呂場など、湿度の高いところや、水はねのある場所で使用しないでください。
火災や感電の原因となります。

雷が鳴り始めたら

アンテナ線や電源プラグに触れないでください。
感電の原因となります。

電源コードの取扱い

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定しないでください。また、電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）修理をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

異常が起きた場合は

煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

乾電池は充電しない

乾電池は充電しないでください。
電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。

電池は放置しない

電池は、幼児の手の届かないところへ置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意下さい。
電池をあやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

準備編

警告

機器の内部に異物や水を入れない

機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かないでください。
こぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。
機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

落下した機器は使わない

機器を落としたり、カバーやケースがこわれた場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

ケースを絶対に開けないでください

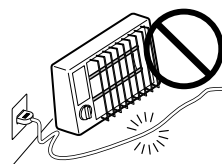
機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。
内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

電源プラグは清潔に

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

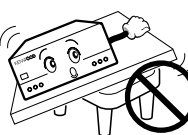
注意

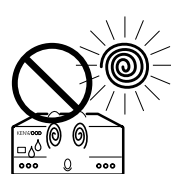
電源コードを熱器具に近付けない

電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近付けないでください。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

指定以外のコードを使わない

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。
指定以外のコードを使用したりコードを延長すると発熱し、やけどの原因となることがあります。

不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

温度の高い場所には置かない

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

湿気やほこりのある場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは

旅行などで長期間、ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

音量に気をつけて

はじめに音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにしてください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

機器に乗らない

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

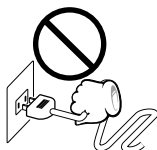
指をはさまない

お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に手を入れないようご注意ください。
指がはさまれて、けがの原因となることがあります。

電源プラグの抜き差しは

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。
発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

レーザー光源はのぞかない

レーザー光源をのぞき込まないでください。
レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

お手入れの際は

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのケンウッドサービス窓口に費用を含めご相談ください。

内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

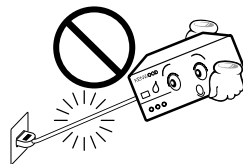
電池の取扱い

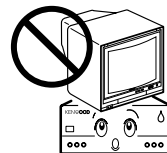
電池は誤った使い方をすると、破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。
次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示(プラス"+"とマイナス"-"の向き)に注意し、表示通りに入れてください。

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。

移動させる際は

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

指定機器以外のものを乗せない

この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

アンテナ工事

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

再生できるディスクの方式と種類

本システムでは、CDで音楽を楽しむだけでなく、以下のディスクを再生することにより、映画やライブなどの映像を高画質で楽しむことができます。

再生できるディスク		DVD VIDEO		CD (CD-R, CD-RW)		VCD (SVCD*)	
ディスクに表示されているロゴマーク		DVD VIDEO	DVD VIDEO	COMPACT disc DIGITAL AUDIO		COMPACT disc DIGITAL VIDEO	COMPACT disc SUPER VIDEO
ディスクの大きさ		8cm	12cm	8cm	12cm	8cm	12cm
再生面		片面または両面	片面または両面	片面のみ	片面のみ	片面のみ	片面のみ
内容	映像+音声	約41分(片面1層) 約75分(片面2層) 約82分(両面1層) 約150分(両面2層)	約133分(片面1層) 約242分(片面2層) 約266分(両面1層) 約484分(両面2層)			最大20分 (SVCDの場合再生可能時間は短くなります。)	最大74分
	音声			最大20分デジタル	最大80分デジタル		

MP3 ディスクや、JPEG画像も再生可能です。(CD-R, CD-RW) →49
- * 本機はSVCDの再生が可能ですが、一部働かない機能もあります。
- 本機はDVD-R, DVD+R, DVD-RW, DVD+RW の再生が可能ですが、記録した機器、DISC の製造元などにより、再生できない場合もあります。
- CD-R/RW再生の場合制作者の意図や、録音状態その他によって再生できない場合があります。

再生できないディスク

次のディスクは再生できません。

- DVD-ROMディスク
- DVD-RAMディスク
- SACDディスク
- CD-ROM（MP3, JPEGディスク [ISO 9660 level 1規格]を除く）
- VSDディスク
- CDVディスク（音声部分のみ再生可能）
- CD-G、CD-EG、CD-EXTRAディスク（音声部分のみ再生可能）
- フォトCDディスク（絶対に再生しないでください）

- ご使用のテレビとフォーマットの異なるビデオフォーマットのディスクは正常に再生できません。 →9

DVDディスクに表示されている各種のアイコン(絵表示)について

アイコン	意　味
ALL	再生可能な地域番号(リジョンコード)を示します。
8	オーディオ機能の言語数を示します。アイコン中に表示されている数字が言語数を表します。(最大8ヶ国語)
32	サブタイトル機能の字幕言語数を示します。アイコン中に表示されている数字が言語数を表します。(最大32ヶ国語)
9	アングル機能のアングル数を示します。アイコン中に表示されている数字がアングル数を表します。(最大9アングル)
16:9 LB	選ぶことのできるアスペクト比を示します。(TVモード→18、→20)左の例では16:9の映像からレターボックスに変換できることを表しています。

リジョンコード

本機の地域番号(リジョンコード)

ＤＶＤでは、国ごとに割り当てられた地域番号(リジョンコード)が定められており、ＤＶＤディスクに表示されている地域番号(リジョンコード)と一致しないと再生できません。

本機の地域番号(リジョンコード)は"2"です。

本機で再生できるDVDディスクの地域番号について

本機で再生できるDVDディスクは、本機の地域番号(リジョンコード)と一致した番号"2"が表示されているディスク、または本機の地域番号(リジョンコード)の含まれた表示のあるディスク、下の"ＡＬＬ"表示のあるディスクのみです。また地域番号(リジョンコード)の表示のないディスクでも、制限がある場合があり、本機で再生できないことがあります。

ディスクの違いによる制限について

ＤＶＤ、ＶＣＤは、ソフト制作者の意図により、再生状態が決められていることがあります。本機では、ソフト制作者が意図したディスクの内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずお読みください。
操作中に、本機に接続したテレビの画面に禁止アイコンが表示されることがありますが、上記の制限状態にあることを示します。

禁止アイコン

テレビ画面のビデオフォーマットについて

テレビ画面のビデオフォーマット

テレビの画面表示方式およびディスクの信号方式には大きく分けて二つのタイプ(PAL/NTSC)があり、国や地域によって違います。(右図参照)このため、お使いになるテレビの方式(国や地域)に合わせて、ディスクを選ぶ必要があります。

主な国のテレビ方式

TVの方式	主な国や地域
NTSC	日本、台湾、韓国、アメリカ、カナダ、メキシコ、フィリピン、チリ…など
PAL	中国、北朝鮮、イギリス、ドイツ、オーストラリア、ニュージランド、クエート、シンガポール…など

DVD/VCDディスクのビデオフォーマットの設定

本機はビデオフォーマットの切替ができます。初期設定はNTSC方式です。(→18)
通常日本国内で使用する場合はテレビの方式も販売されているディスクもNTSC方式です。

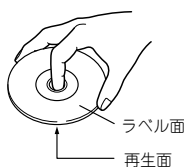
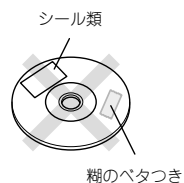
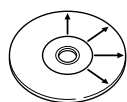
準備編

メンテナンス

セットのお手入れ
前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について
接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

参考

ディスク取扱上のご注意

取り扱い
再生面にふれないように持ってください。

再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

お手入れ
ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。

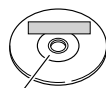
保存
長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

CD-R/CD-RWディスクについて
レーベル面に印刷可能なCD-R/CD-RWを使用すると、レーベル面が貼り付いてディスクの取り出しができないことがあります。本機の故障の原因となるため、このようなディスクは使用しないでください。

異常なディスクは使用しない
再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。
円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

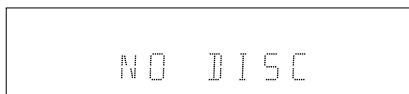
本機で使用できるディスクについて
CD（12 cm、8cm）、CD-R、CD-RWおよびCD-G/CDEG（CD グラフィクス）、CD-EXTRA の音声部分が再生できます。レーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入ったディスクをご使用ください。このマークが入っていないディスクは正しく再生できない場合があります。

ディスクアクセサリーについて
音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、保護リングなど）およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて

図の様にクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。シールから糊がはみ出したり金属板が貼られている場合があり、ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。
シール類をはがした後、糊がラベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

輸送時または移動時のご注意
本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行って、ディスクの入っていないことを確かめてください。

1. POWERをオンにします。
2. 数秒待って、表示部に下の表示になったことを確かめてください。

```
NO DISC
```

3. POWERボタンをオフにします。

結露にご注意
本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴（露）が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。
このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

次のような状態のときは、特に結露にご注意ください。
気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋など。

下図のように接続してください。
関連システム製品を接続するときは、関連機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

⚠注意

接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。また、接続を変更する場合も電源プラグをコンセントから抜いて、接続の変更を行ってください。

⚠注意

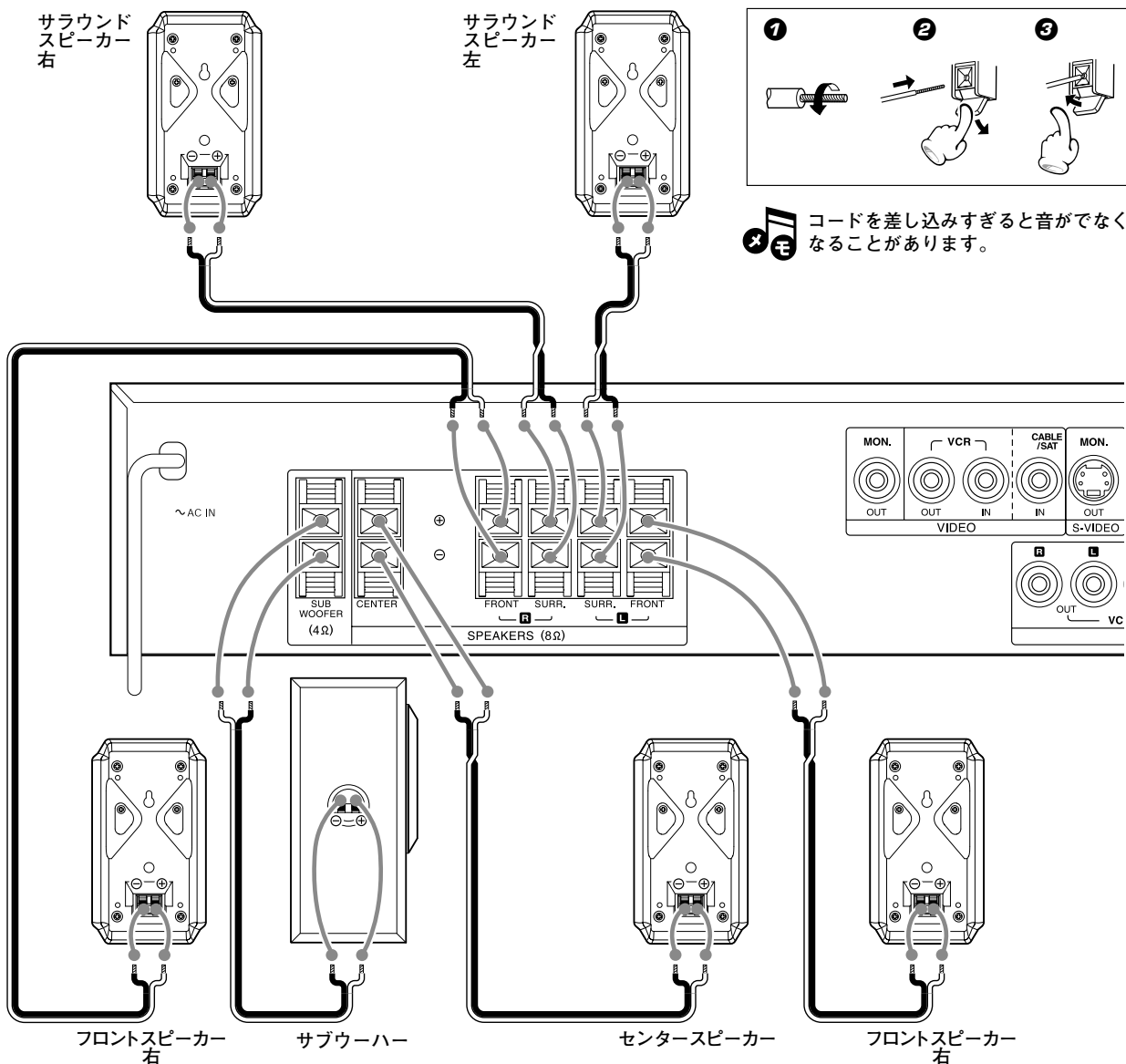
本機は、電源スイッチを OFF(オフ) にしても電源から完全には遮断されません。電源から完全に遮断する場合には、電源プラグをコンセントから抜いてください。

マイコンの誤動作について

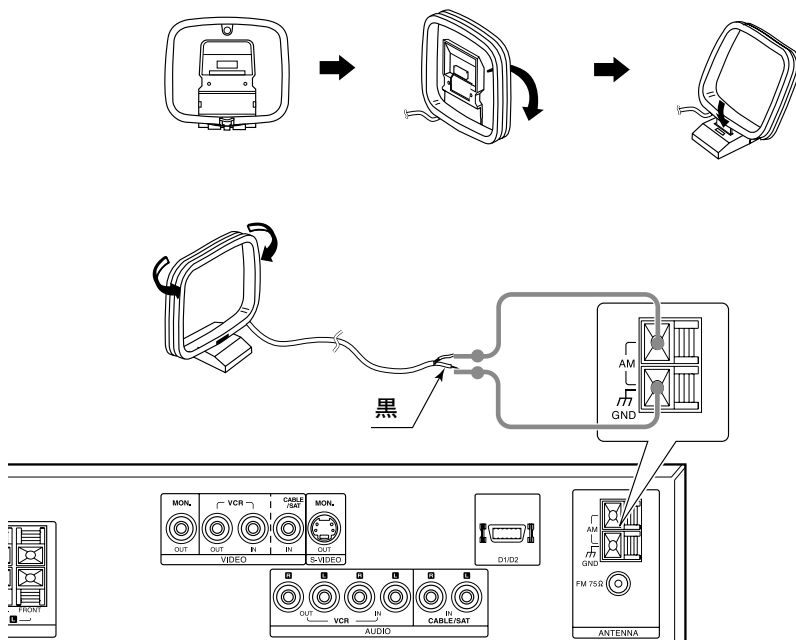
正しく接続したのに操作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、「故障と思われる症状ですが...」を参照してマイコンをリセットしてください。 →54

設置のご注意

過熱による火災の原因となりますので、放熱の妨げになるものを天板の上に置かないでください。

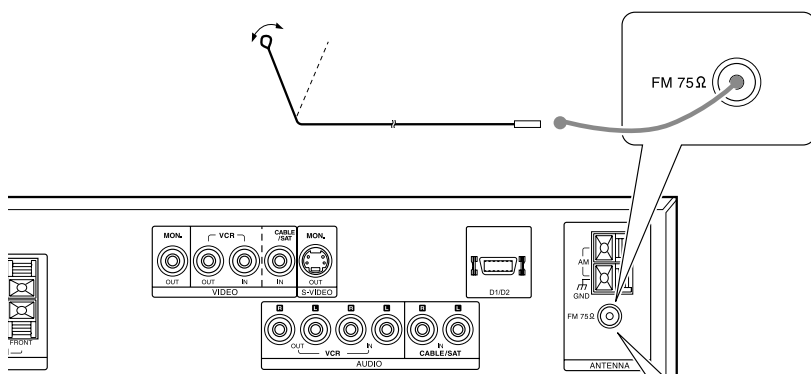
スピーカーの接続

AMループアンテナ

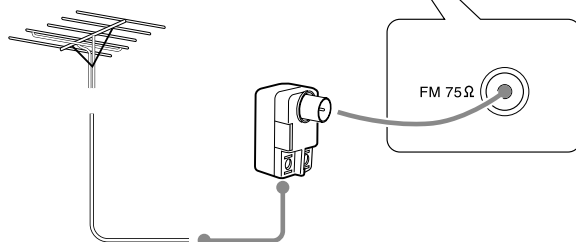
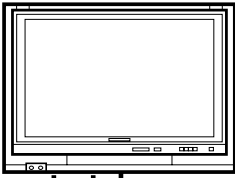
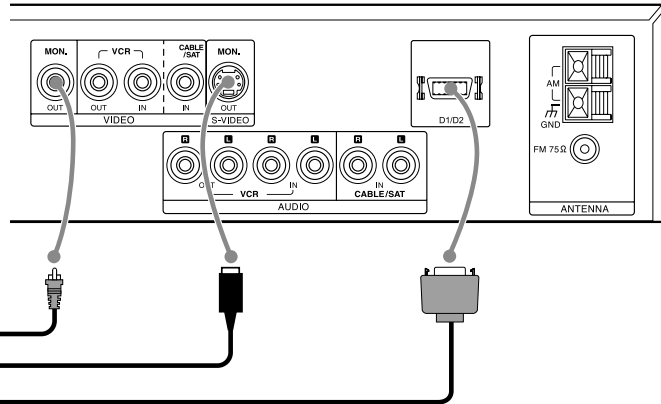
AM ループアンテナの接続

付属のアンテナは室内専用です。本体や、テレビ、スピーカーコード、電源コードなどからできるだけ離してください。受信状態が一番良くなる向きにセットしてください。

FM アンテナ

FM 室内アンテナの接続

付属のアンテナは一時的に使用するための室内アンテナです。放送の安定した受信をするためには屋外アンテナのご使用をおすすめします。屋外アンテナを接続した場合は室内アンテナは取り外してください。

❶ アンテナ端子に接続する
❷ 受信状態のもっとも良くなる位置に向ける
❸ アンテナを固定する

FM 屋外アンテナの接続（市販）

75 Ω 同軸ケーブルをFM屋外アンテナに接続して、図のように本機の FM 75 Ω 端子に接続します。

テレビに接続する

本機のS-VIDEO出力端子は内蔵のDVDプレヤーのみ出力されます。VCR, CABLE/SAT端子に接続した機器の出力はコンポジット信号として出力されます。

テレビにD端子がある場合は、D端子コードで接続をすると、DVDの映像が高画質でごらんになれます。
この場合でもS-ビデオコード、コンポジットコードも合わせて、接続してください。

D端子を使って接続をした場合はD1端子、D2端子の切換を■PROGRESSIVE（プログレッシブ）（ACTIVE EQ.（アクティブ））切換ボタンで切り換えます。

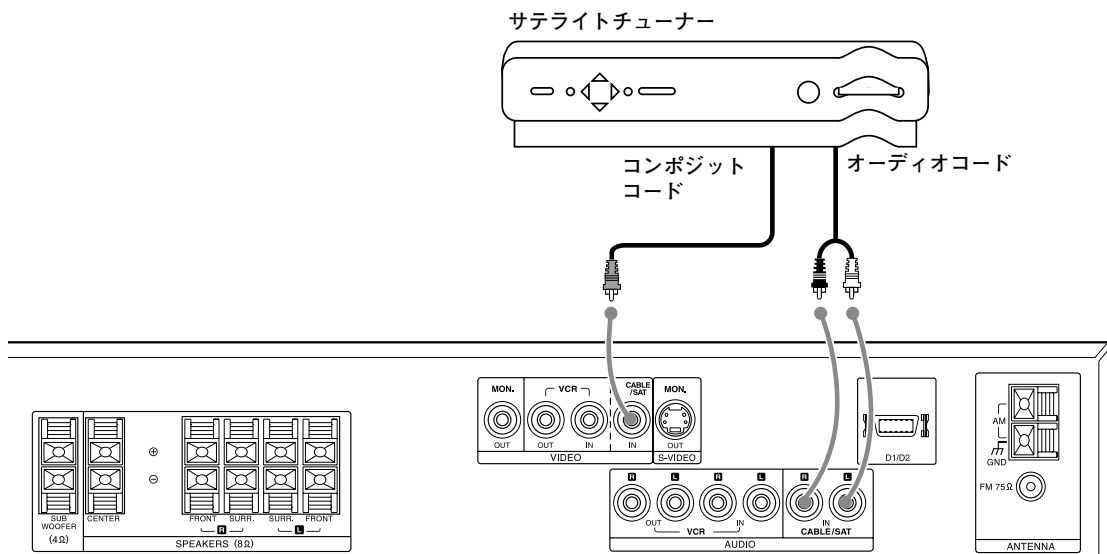
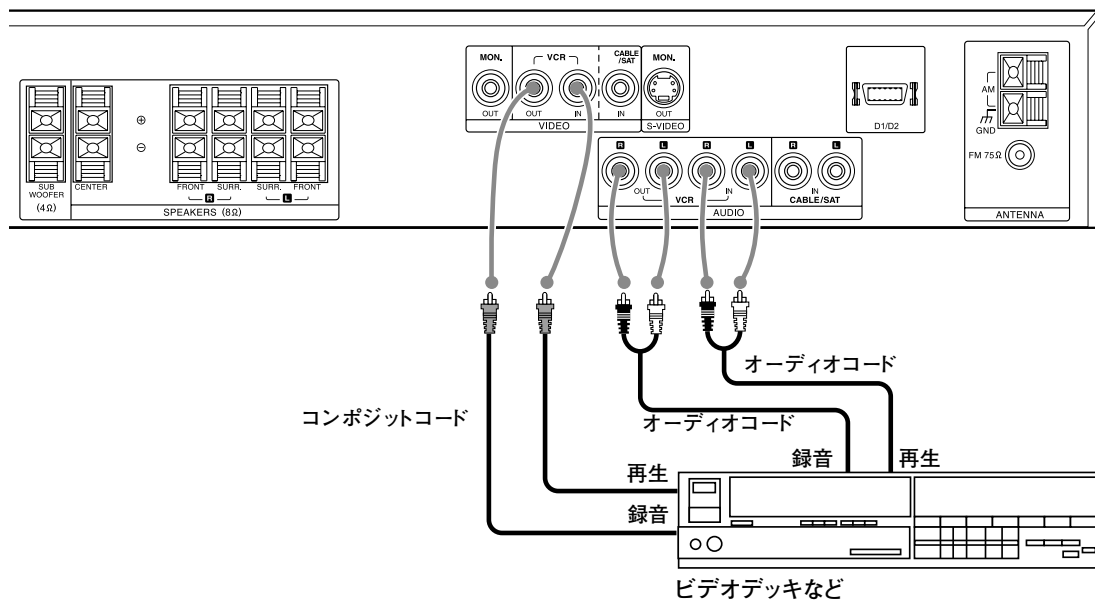
ボタンを押し続けるごとに次のように切り換わります。
① D1
② D2

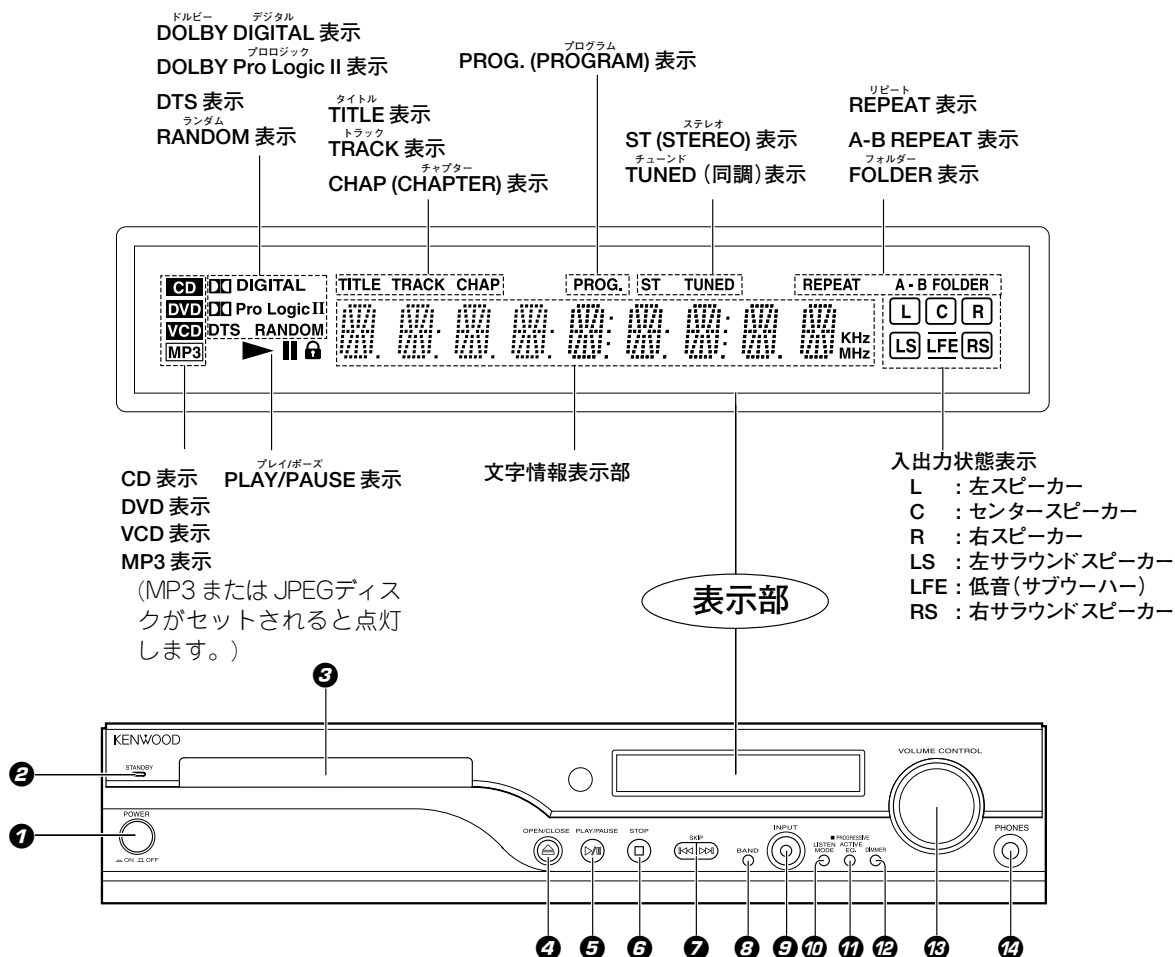
S-VIDEO 端子接続について

映像信号をカラー（C）信号と照度（Y）信号に分離してテレビに伝えるため、より鮮明な画像を得られます。S映像入力端子付きテレビにはS-ビデオコードを接続し、セットアップ画面で、**S-VIDEO**に切り換えて使うことをおすすめします。（工場出荷時は**S-VIDEO**に設定されています。）
詳しくは、テレビの取扱説明書をよくお読みください。

D1/D2端子接続について

コンポーネントビデオ接続が、コード1本で手軽に行えます。
D2端子接続ではBSデジタル対応テレビなどとの接続で、プログレッシブ（525p）映像を楽しめます。

サテライトチューナーに接続する

オーディオビデオ機器との接続

DTSに関する注意事項

DTSデジタルサラウンドは独立した5.1チャンネルのデジタルオーディオフォーマットで、CD、LD、そしてDVDソフトウエアに使われていますが、たいていのCD、LD、DVDプレーヤーではデコードできませんし、また再生もできません。このため、DTSでエンコードされたソフトウエアを再生すると、CD、LD、またはDVDプレーヤーのアナログステレオ出力から雑音が出ることがあります。これらのアナログステレオ出力がアンプまたはレシーバーに直接接続されている場合にはご注意ください。
本機はDTSデジタルサラウンドデコーダーを搭載しています。

❶ POWER ON / OFF スイッチ	→16
❷ STANDBY インジケーター	
❸ ディスクトレイ	→38
❹ ▲ (OPEN/CLOSE) ボタン	→38
❺ ►/II (PLAY/PAUSE) ボタン	→38
❻ ■ (STOP) ボタン	→38
❼ I◄◄, ►►I (SKIP) ボタン	→36 →39
❽ BAND ボタン	→36
❾ INPUT（入力切換）ボタン	→34
❿ LISTEN MODE ボタン	→29
⓫ PROGRESSIV / ACTIVE EQ. ボタン	→13
⓬ DIMMER ボタン	
⓭ VOLUME CONTROL（音量調節）ツマミ	→34
⓮ PHONES（ヘッドホン）ジャック	→34

スタンバイ状態について

本機のスタンバイインジケーターが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいます。このとき、リモコンで本機をオンできます。

DIMMER 機能

本機の表示部の明るさを切り換えることができます。

DIMMER

リモコンのDIMMERボタンを押すごとに次のように切り換わります。

① 明るい
② DIMMER 1（少し暗い）
③ DIMMER 2（暗い）

リモコンの操作

DVT-6200 (JA/J)

本体と同じ名前のリモコンボタンは本体と同じ働きをします。

型名 : RC-R0310
赤外線方式

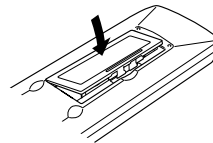
❶ REPEAT ボタン →43
　A-B（リピート）ボタン →43
　RANDOM ボタン →42
❷ 数字ボタン →26
❸ PGM（プログラム）ボタン →45
❹ CLEAR ボタン →46
❺ ANGLE ボタン →42
❻ TOP MENU / INTRO SCAN ボタン →38 →44
❼ カーソル上（▲）、下（▼）、左（◄）、右(►)ボタン →20
　ENTER / PRESET ボタン →20
❽ RETURN ボタン →19
❾ P.CALL /|◄◄,►►|（スキップ）ボタン →36 →39
　TUNING/ ◄◄,►►（サーチ）ボタン →36 →39
❿ ❚❚（一時停止）ボタン →38
　►（再生）ボタン →38
⓫ SUBTITLE ボタン →41
　AUDIO ボタン →41
　SLOW ボタン →40
　STEP ボタン →39
⓬ スピーカー調整ボタン →32
　FRONT（前面）ボタン
　CENTER ボタン
　REAR（背面）ボタン
　SW（サブウーハー）ボタン
⓭ LISTEN MODE ボタン →29
　ACTIVE EQ./SET UP ボタン →30
⓮ MUTE ボタン →34
⓯ POWER（電源）ボタン →18
⓰ 入力切換ボタン →34
　DVD/CD ボタン
　TUNER/BAND ボタン
　VCR ボタン
　CABLE/SAT. ボタン
⓱ BOOK MARK ボタン →44
⓲ MENU/P.B.C. ボタン →20
⓳ ON SCREEN ボタン →40
⓴ ■（停止）/AUTO/MONO ボタン →36 →38
㉑ TRIM 上（▲）、下（▼）、ボタン →29
㉒ VOLUME（音量）上(▲)、下(▼)、ボタン →34

電池の入れかた

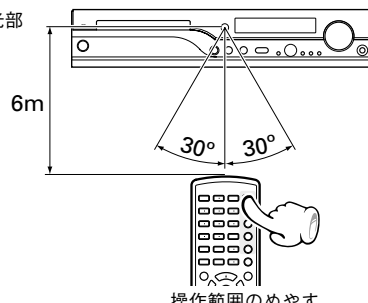
❶ 電池カバーをはずす

❷ 乾電池を入れる

● 単三電池 2 本を極性表示に合わせて入れる。

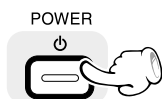
❸ 電池カバーをする

操作のしかた

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、本体のの POWER スイッチを押すと、スタンバイ状態になります。
スタンバイ状態のとき、リモコンのPOWERボタンを押すたびに電源のオンオフが切り換わります。

●リモコンの各操作ボタンを押してから次のボタンを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。

1. 付属の乾電池は、動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当ると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

DVT-6200 (JA/J)

初期設定の準備

❶ 電源をオンにする。

❷ テレビ画面のビデオフォーマットを変える必要があるときは変更する
（初期設定はNTSCです。→9）

本体 リモコン

ディスクをセットしないで、本体の DIMMER（ディマー）ボタンを押しながら、リモコンの SUBTITLE（サブタイトル）ボタンを押します。操作をするごとに次のように切り換わります。

① NTSC（日本国内用）
② PAL（ヨーロッパ用）
③ MULTI（マルチ） (NTSC/PAL 自動切換テレビ用)

初期設定（Set up（セットアップ））メニュー画面

初期設定画面は次のような色々な設定ができます。ご使用の環境に合わせて切り換えてください。

映像設定

- TV モード
  接続するテレビのタイプによって従来サイズかワイドかを切り換えます。
  - NORMAL（ノーマル）/PS（パンスキャン）
    従来サイズのテレビに接続したときに選び、テレビ画面いっぱいに映画を見たい場合に設定します。
    映画の左右が切れて映ります。
    この形式に適合しないディスクもあります。その場合は上下に黒い部分が残ります。
  - NORMAL/LB（レターボックス）
    従来サイズのテレビに接続したときに選び、映画の縦横比のままの画面で見る場合に設定します。
    この場合画面の上下に黒い部分が残ります。
  - WIDE（ワイド）
    ワイドテレビに接続した場合に選択します。
- ピクチャーモード
  再生する素材の質に合わせて、画面の質を調整します。
  - AUTO（オート）
    自動で画質を調整します。
  - FILM（フィルム）
    フィルム素材の画像を再生するときに選びます。
  - VIDEO（ビデオ）
    ビデオ素材の画像を再生するときに選びます。
  - SMART（スマート）
    リミテッドモーション（フレーム数の少ない動画）の素材を再生するときに選びます。
  - SSMART（スーパースマート）
    モーションアダプティブデインターレーシング方式で処理された素材を再生するときに選びます。
- アングル
  この機能をオンにしておくとDVD再生時にマルチアングルシーンになったときアングルマーク（ 🎥 ）が表示されます。（OFF）
- OSD 言語
  テレビ画面上に表示される言語を選択します。（日本語）
- キャプション
  クローズドキャプションのオン/オフを切り換えます。（OFF）
  クローズドキャプションとはアメリカで、聴覚障害者用に開発された字幕表示システムですが、語学学習などにも多く使われ始めています。
- スクリーンセーバー
  スクリーンセーバーのオン/オフを切り換えます。（OFF）
  スクリーンセーバーオンの場合、画像が静止状態のまま約3分経過するとスクリーンセーバー機能が働いて、KENWOODのロゴマークが移動する表示になります。

［　　］で囲まれた表示が工場出荷の初期設定です。

オーディオ設定

D レンジ

ドルビーデジタル音声のDVDを再生するとき最大音量と最小音量の巾を圧縮します。夜中に静かに聞くときなどに使います。レンジは8段階に調整できます。**OFF**のとき最大音量と最小音量の巾が最大に、**FULL**のときは音量の巾が最小（圧縮率最大）になります。**(OFF)**

初期設定

ビデオ出力

背面の**S-VIDEO**出力端子に接続した場合は "**S-VIDEO**"を選びます。背面の**D1/D2**出力端子に接続した場合は"**D1/D2**"を選びます。この画面で選択していない 端子には出力されません。（➡13）
（S-VIDEO）

音声言語

音声出力の言語を選びます。（日本語*）

字幕言語

字幕の言語を選びます。（日本語*）

ディスクメニュー言語

DVDディスクに記録されているメニュー画面の言語を選択します。（日本語*）

視聴制限

未成年に見せたくないDVDソフトなどの再生を制限する機能で、レベルを設定します。
DVDソフト自身に、制限するレベルの設定がされていない場合は再生の制限はできません。（8）

視聴制限レベル;

8：すべてのDVDが再生できます。
7 〜 2：一般視聴者用/子供用が再生できます。（成人用は禁止されます。）
1：子供用が再生できます。（一般用/成人用は禁止されます。）

パスワード

視聴制限レベルの設定や、変更するときのパスワードを設定します。

デフォルト

視聴制限レベルとパスワード以外の項目がすべて工場出荷状態になります。

＊マークの付いた言語はディスクによって指定された言語が優先されます。

準備編

RETURN（リターン）ボタンの使いかた

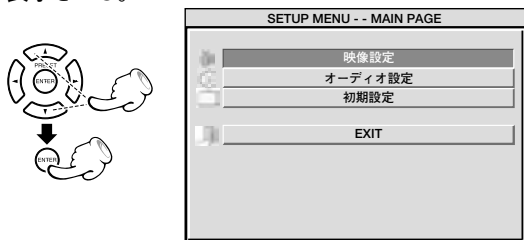
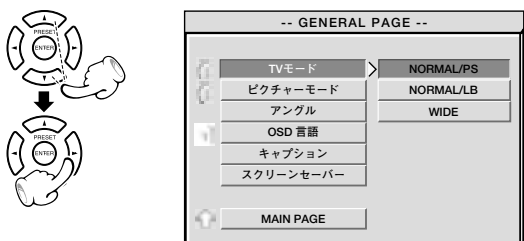
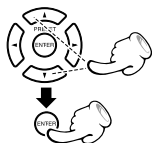
RETURNボタンを押すとMAIN（メイン） PAGE（ページ）に戻ります。

RETURN

18ページ、19ページの説明を御参照ください。

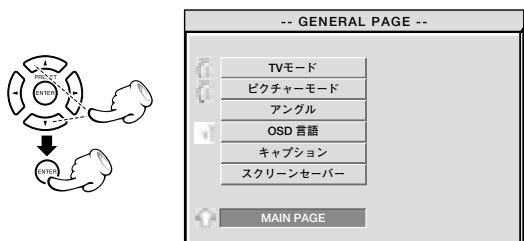
DVD VCD TV画面を選ぶ（TVモード）

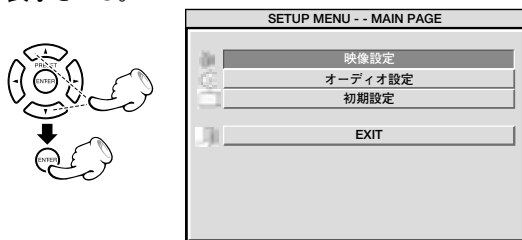
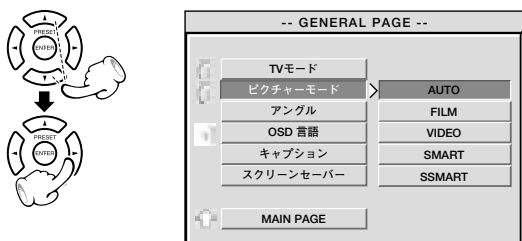
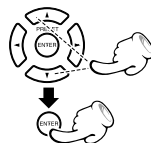
❶ 停止中にリモコンのMENUボタンを押す。

❷ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、「映像設定」を選び、ENTER ボタンを押して次のメニューを表示させる。

❸ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、「TVモード」を選び、カーソル右 (▶) ボタンを押す。

❹ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、TVモードのタイプを選び、ENTER ボタンを押す。

❺ リモコンのカーソル左 (◀) ボタンを押して、前のメニュー画面に戻る。

❻ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、MAIN PAGEを選び、ENTER ボタンを押す。

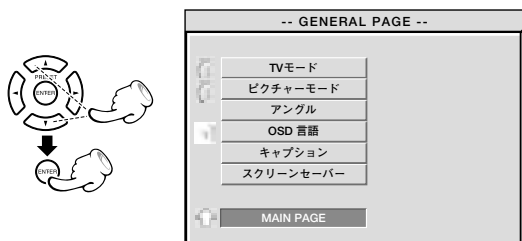
❼ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押してEXITを選び、ENTER ボタンを押す。

DVD VCD ピクチャーモードを選ぶ

❶ 停止中にリモコンのMENUボタンを押す。

❷ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、「映像設定」を選び、ENTER ボタンを押して次のメニューを表示させる。

❸ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、「ピクチャーモード」を選び、カーソル右 (▶) ボタンを押す。

❹ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、お好みのモードを選び、ENTER ボタンを押す。

❺ リモコンのカーソル左 (◀) ボタンを押して、前のメニュー画面に戻る。

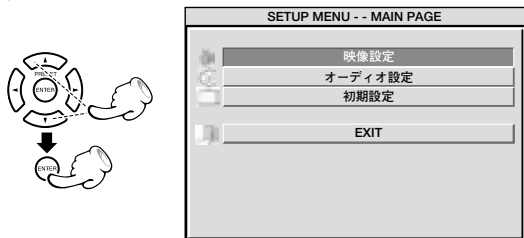
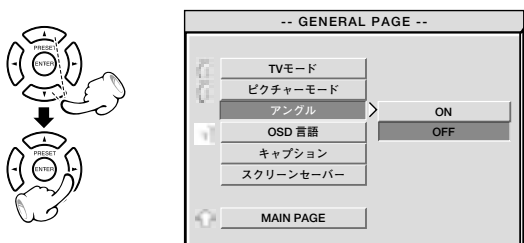
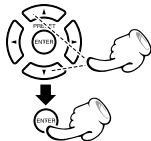
❻ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、MAIN PAGEを選び、ENTER ボタンを押す。

❼ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押してEXITを選び、ENTER ボタンを押す。

準備編

18ページ、19ページの説明を御参照ください。

DVD アングルマークのON/OFFを選ぶ

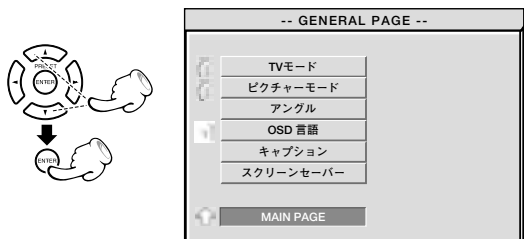
❶ 停止中にリモコンのMENU(メニュー)ボタンを押す。

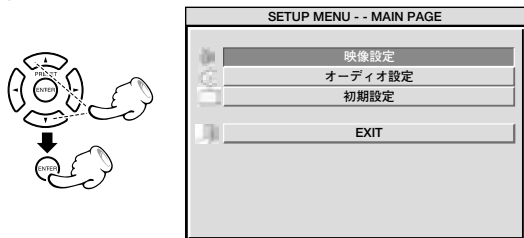
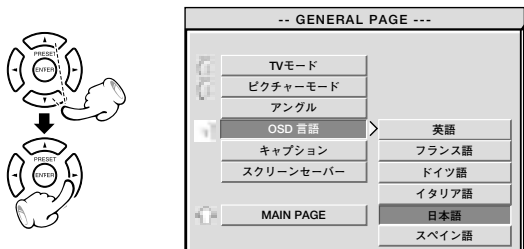
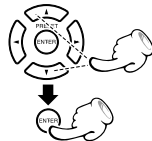
❷ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、「映像設定」を選び、ENTER(エンター) ボタンを押して次のメニューを表示させる。

❸ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、「アングル」を選び、カーソル右 (▶) ボタンを押す。

❹ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、ONまたはOFFを選び、ENTER ボタンを押す。

❺ リモコンのカーソル左 (◄) ボタンを押して、前のメニュー画面に戻る。

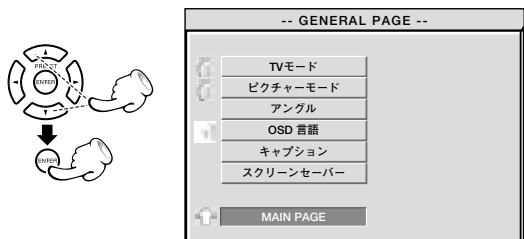
❻ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、MAIN(メイン) PAGE(ページ)を選び、ENTER ボタンを押す。

❼ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押してEXIT(イグジット)を選び、ENTER ボタンを押す。

DVD VCD CD OSD言語を選ぶ

❶ 停止中にリモコンのMENU(メニュー)ボタンを押す。

❷ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、「映像設定」を選び、ENTER(エンター) ボタンを押して次のメニューを表示させる。

❸ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、「OSD言語」を選び、カーソル右 (▶) ボタンを押す。

❹ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、お好みの言語を選び、ENTER ボタンを押す。

❺ リモコンのカーソル左 (◄) ボタンを押して、前のメニュー画面に戻る。

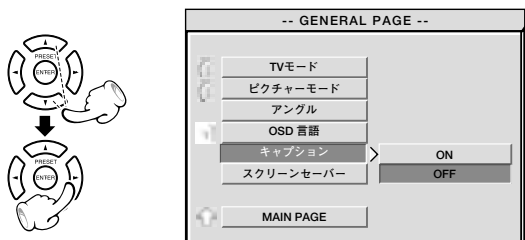
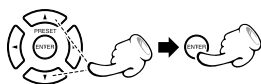
❻ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、MAIN(メイン) PAGE(ページ)を選び、ENTER ボタンを押す。

❼ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押してEXIT(イグジット)を選び、ENTER ボタンを押す。

18ページ、19ページの説明を御参照ください。

DVD キャプション ONまたはOFFを選ぶ

❶ 停止中にリモコンのMENU（メニュー）ボタンを押す。

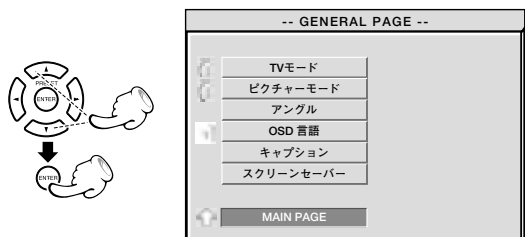
❷ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、「映像設定」を選び、ENTER（エンター）ボタンを押して次のメニューを表示させる。

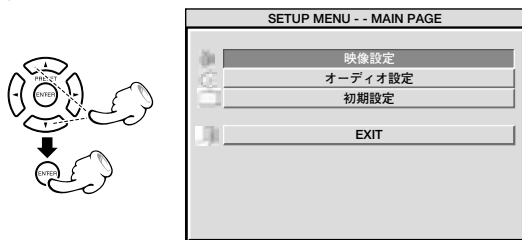
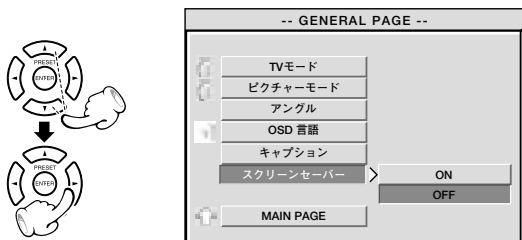
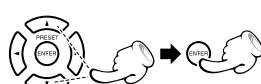
❸ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、「キャプション」を選び、カーソル右 (►) ボタンを押す。

❹ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、ONまたはOFFを選び、ENTER ボタンを押す。

❺ リモコンのカーソル左 (◄) ボタンを押して、前のメニュー画面に戻る。

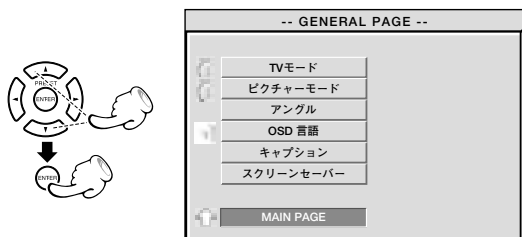
❻ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、MAIN PAGE（メイン ページ）を選び、ENTER ボタンを押す。

❼ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押してEXIT（イグジィット）を選び、ENTER ボタンを押す。

DVD VCD CD スクリーンセーバーON またはOFFを選ぶ

❶ 停止中にリモコンのMENU（メニュー）ボタンを押す。

❷ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、「映像設定」を選び、ENTER（エンター）ボタンを押して次のメニューを表示させる。

❸ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、「スクリーンセーバー」を選び、カーソル右 (►) ボタンを押す。

❹ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、ONまたはOFFを選び、ENTER ボタンを押す。

❺ リモコンのカーソル左 (◄) ボタンを押して、前のメニュー画面に戻る。

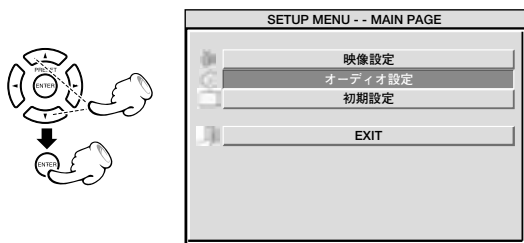
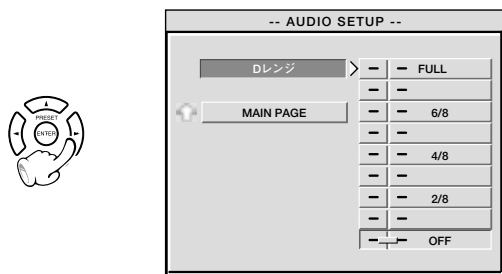
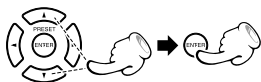
❻ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、MAIN PAGE（メイン ページ）を選び、ENTER ボタンを押す。

❼ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押してEXIT（イグジィット）を選び、ENTER ボタンを押す。

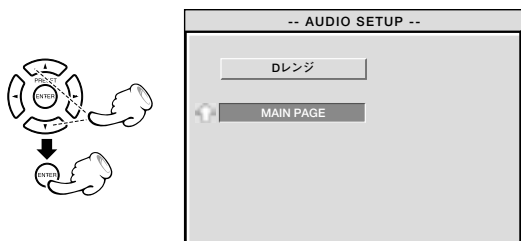
18ページ、19ページの説明を御参照ください。

DVD ダイナミックレンジを選ぶ

この機能は、ドルビーデジタル録音されたDVDのみに機能します。

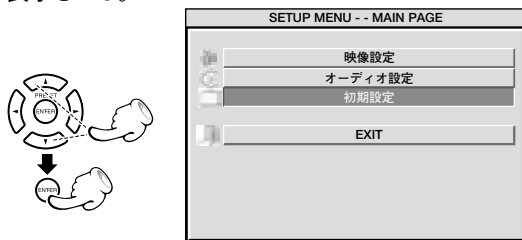
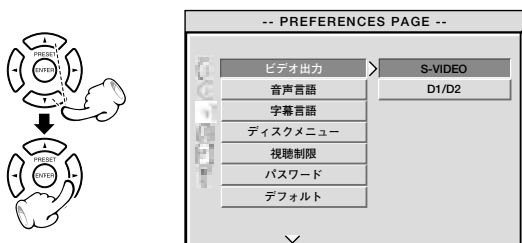
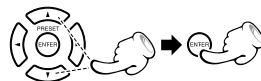
❶ 停止中にリモコンのMENU（メニュー）ボタンを押す。

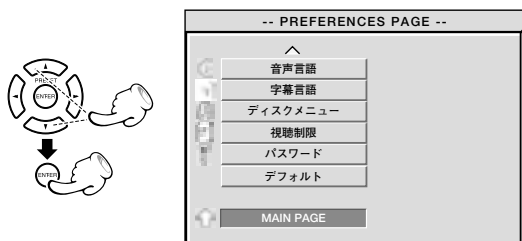
❷ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、「オーディオ設定」を選び、ENTER（エンター） ボタンを押して次のメニューを表示させる。

❸ リモコンのカーソル右 (▶) ボタンを押す。

❹ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、お好みのレンジを選び、ENTER ボタンを押す。

❺ リモコンのカーソル左 (◀) ボタンを押して、前のメニュー画面に戻る。

❻ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、MAIN PAGE（メイン ページ）を選び、ENTER ボタンを押す。

❼ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押してEXIT（イグジィット）を選び、ENTER ボタンを押す。

DVD VCD ビデオ出力の選択

❶ 停止中にリモコンのMENU（メニュー）ボタンを押す。

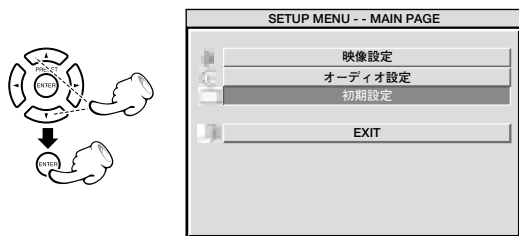
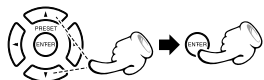
❷ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、「初期設定」を選び、ENTER（エンター） ボタンを押して次のメニューを表示させる。

❸ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、「ビデオ出力」を選び、カーソル右 (▶) ボタンを押す。

❹ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、S-VIDEO（エスビデオ）またはD1/D2を選び、ENTER ボタンを押す。

❺ リモコンのカーソル左 (◀) ボタンを押して、前のメニュー画面に戻る。

❻ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、MAIN PAGE（メイン ページ）を選び、ENTER ボタンを押す。

❼ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押してEXIT（イグジィット）を選び、ENTER ボタンを押す。

18ページ、19ページの説明を御参照ください。

DVD 音声言語を選ぶ

❶ 停止中にリモコンのMENUボタンを押す。

❷ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、「初期設定」を選び、ENTER ボタンを押して次のメニューを表示させる。

❸ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、「音声言語」を選び、カーソル右 (▶) ボタンを押す。

❹ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、お好みの言語を選び、ENTER ボタンを押す。

「その他」の言語を選ぶには
① OTHERSを選んでENTERボタンを押す。
② リモコンの番号ボタンを使って、4桁の言語コードを入力する。
③ ENTERボタンを押す。
(DVD メニュー言語コード表 → 27)

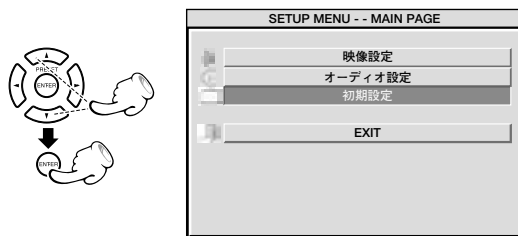
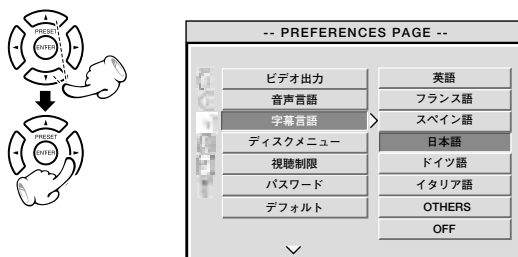
❺ リモコンのカーソル左 (◀) ボタンを押して、前のメニュー画面に戻る。

❻ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、MAIN PAGEを選び、ENTER ボタンを押す。

❼ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押してEXIT を選び、ENTER ボタンを押す。

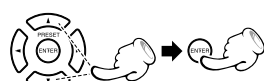
DVD 字幕言語を選ぶ

❶ 停止中にリモコンのMENUボタンを押す。

❷ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、「初期設定」を選び、ENTER ボタンを押して次のメニューを表示させる。

❸ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、「字幕言語」を選び、カーソル右 (▶) ボタンを押す。

❹ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、お好みの言語を選び、ENTER ボタンを押す。

「その他」の言語を選ぶには
① OTHERSを選んでENTERボタンを押す。
② リモコンの番号ボタンを使って、4桁の言語コードを入力する。
③ ENTERボタンを押す。
(DVD メニュー言語コード表 → 27)

❺ リモコンのカーソル左 (◀) ボタンを押して、前のメニュー画面に戻る。

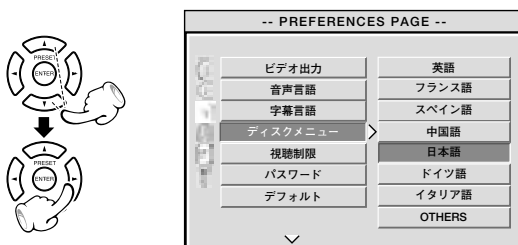
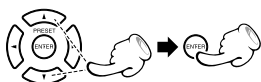
❻ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、MAIN PAGEを選び、ENTER ボタンを押す。

❼ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押してEXIT を選び、ENTER ボタンを押す。

18ページ、19ページの説明を御参照ください。

DVD ディスクメニュー言語を選ぶ

❶ 停止中にリモコンのMENU(メニュー)ボタンを押す。

❷ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、「初期設定」を選び、ENTER(エンター) ボタンを押して次のメニューを表示させる。

❸ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、「ディスクメニュー言語」を選び、カーソル右 (▶) ボタンを押す。

-- PREFERENCES PAGE --

ビデオ出力	英語
音声言語	フランス語
字幕言語	スペイン語
ディスクメニュー	中国語
視聴制限	日本語
パスワード	ドイツ語
デフォルト	イタリア語
	OTHERS

❹ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、お好みの言語を選び、ENTER ボタンを押す。

「その他」の言語を選ぶには

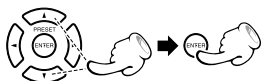
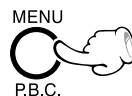
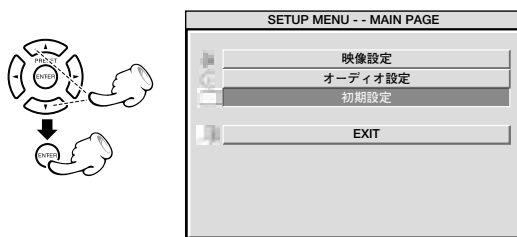
① OTHERS(アザーズ)を選んでENTERボタンを押す。
② リモコンの番号ボタンを使って、4桁の言語コードを入力する。
③ ENTERボタンを押す。
(DVD メニュー言語コード表 → 27)

❺ リモコンのカーソル左 (◀) ボタンを押して、前のメニュー画面に戻る。

❻ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、MAIN(メイン) PAGE(ページ)を選び、ENTER ボタンを押す。

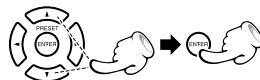
❼ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押してEXIT(イグジィット)を選び、ENTER ボタンを押す。

DVD 視聴制限レベルの選択

未成年に見せたくないDVDソフトの再生を制限するレベルの設定をします。

❶ 停止中にリモコンのMENU(メニュー)ボタンを押す。

❷ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、「初期設定」を選び、ENTER(エンター) ボタンを押して次のメニューを表示させる。

❸ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、「視聴制限」を選び、カーソル右 (▶) ボタンを押す。

-- PREFERENCES PAGE --

ビデオ出力	1
音声言語	2
字幕言語	3
ディスクメニュー	4
視聴制限	5
パスワード	6
デフォルト	7
	8

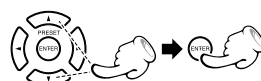
❹ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、お好みのレベルを選び、ENTER ボタンを押す。

❺ パスワードを入力し、ENTERボタンを押す。

工場出荷時(初期設定)のパスワードは"0000"です。パスワードを替えるときは26ページの「パスワードの変更」の項目を参照してください。

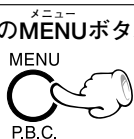
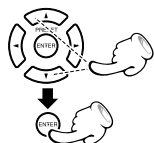
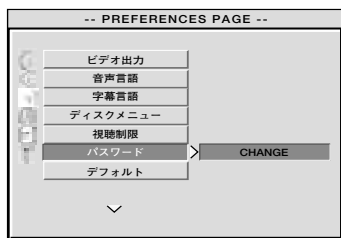
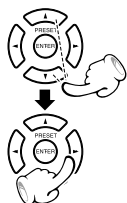
❻ リモコンのカーソル左 (◀) ボタンを押して、前のメニュー画面に戻る。

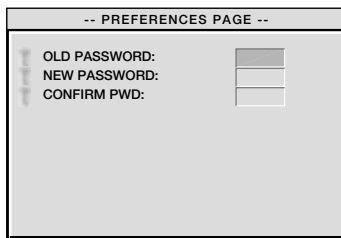
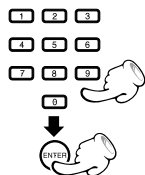
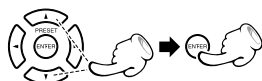
❼ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、MAIN(メイン) PAGE(ページ)を選び、ENTER ボタンを押す。

❽ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押してEXIT(イグジィット)を選び、ENTER ボタンを押す。

DVT-6200 (JA/J)

18ページ、19ページの説明を御参照ください。

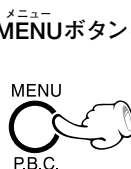
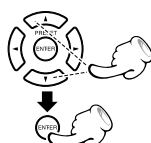
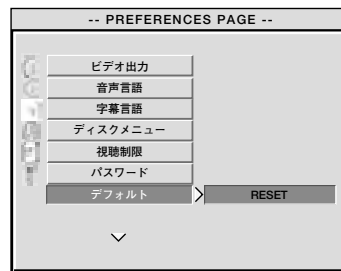
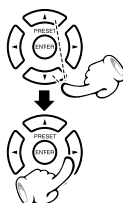
DVD パスワードの変更

❶ 停止中にリモコンのMENU（メニュー）ボタンを押す。

❷ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、「初期設定」を選び、ENTER（エンター） ボタンを押して次のメニューを表示させる。

❸ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、「パスワード」を選び、カーソル右 (►) ボタンを押す。

❹ ENTERボタンを押して、CHANGE（チェンジ）を選ぶ。

❺ 従来のパスワードを入力し、つぎに新しいパスワードを入力して、確認のため、もう一度新しいパスワードを入力する。その後ENTERボタンを押す。（工場出荷時のパスワードは"0000"です。）

❻ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、MAIN（メイン） PAGE（ページ）を選び、ENTER ボタンを押す。

❼ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押してEXIT（イグジィット）を選び、ENTER ボタンを押す。

DVD VCD CD 工場出荷時の状態に戻す

視聴制限レベルとパスワード以外の項目がすべて工場出荷状態になります。

❶ 停止中にリモコンのMENU（メニュー）ボタンを押す。

❷ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、「初期設定」を選び、ENTER（エンター） ボタンを押して次のメニューを表示させる。

❸ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、「デフォルト」を選び、カーソル右 (►) ボタンを押す。

❹ ENTERボタンを押して、RESET（リセット）を選ぶ。

❺ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押してEXIT（イグジィット）を選び、ENTER ボタンを押す。

準備編

DVDメニュー言語コード表

コード番号	言　　語
1027	アファル
1028	アブハジア
1032	アフリカーン
1039	アムハラ
1044	アラビア
1045	アッサム
1051	アイラマ
1052	アゼルバイジャン
1053	パシキール
1057	ベロルシア
1059	ブルガリア
1060	ビハール
1069	ビスラマ
1066	ベンガル(バングラ)
1067	チベット
1070	ブルaターニュ
1079	カタロニア
1093	コルシカ
1097	チェコ
1103	ウェールズ
1105	デンマーク
1109	ドイツ
1130	ブータン
1142	ギリチャ
1144	英語
1145	エスペラント
1149	スペイン
1150	エストニア
1151	バスク
1157	ペルシャ
1165	フィンランド
1166	フィジー
1171	フェロー
1174	フランス
1181	フリジア
1183	アイルランド
1186	スコットランド
1194	ガリチア
1196	グアラニー
1203	グジャラト
1209	ハウサ
1217	ヒンディー
1226	クロアチア
1229	ハンガリー
1233	アルメニア
1235	インターリングア
1239	インテルリングア
1245	インテルリングエ
1248	インドネシア
1253	アイスランド
1254	イタリア
1257	ヘブライ
1261	日本語
1269	イディッシュ
1283	ジャワ
1287	グルジア
1297	カザフ
1298	グリーンランド
1299	カンボジア
1300	カンナダ
1301	韓国語
1305	カシミール
1307	クルド
1311	キルギス
1313	ラテン
1326	リンガラ
1327	ラオ
1332	リトアニア
1334	ラトビア(レット)
1345	マダガスカル
1347	マオリ
1349	マケドニア
1350	マラヤーラム
1352	モンゴル
1353	モルダビア
1356	マラッタ
1357	マライ(マレー)
1358	マルタ
1363	ビルマ
1365	ナウル
1369	ネパール
1376	オランダ
1379	ノルウェー
1393	オクシタン
1403	(アファン)オロモ
1408	オーリャ
1417	パンジャブ
1428	ポーランド
1435	パシュト
1436	ポルトガル
1463	ケチュア
1481	レトロマンス
1482	キルンディ
1483	ルーマニア
1489	ロシア
1491	キンヤルワンダ
1495	サンスクリット
1498	シンド
1501	サングロ
1502	セルボクロアチア
1503	シンハラ
1505	スロバキア
1506	スロベニア
1507	サモア
1508	ショナ
1509	ソマリ
1511	アルバニア
1512	セルビア
1513	シスワティ
1514	セント
1515	スンダ
1516	スウェーデン
1517	スワヒリ
1521	タミル
1525	テルグ
1527	タジク
1528	タイ
1529	ティグリニア
1531	トルクメン
1532	タガログ
1534	セツワナ
1535	トンガ
1538	トルコ
1539	ツソンガ
1540	タタール
1543	トウイ
1557	ウクライナ
1564	ウルドゥー
1572	ウズベグ
1581	ベトナム
1587	ヴォラビュック
1613	ウォロフ
1632	コーサ
1665	ヨルバ
1684	中国語
1697	ズールー

LISTEN モードとは

本機は、さまざまなプログラムソースに対応した、サラウンドモードを備えており、ホームシアターとしてお楽しみ頂けます。サラウンドモードはそれぞれマルチチャンネルに対応していますが、方式によって内容が異なります。

- **Dolby Digital：**ドルビーデジタルは、映画館のデジタルサラウンドサウンド技術に基づいたエンコード／デコード処理を利用しています。5つのメイン チャンネルはフル周波数の独立したチャンネルであり、映画のようにリスナーを完全に包み込むような奥行きのあるサウンドを再生します。
  Dolby Digitalは**Dolby Pro Logic**と比較するとより明瞭で大きなサラウンド環境、そしてよりリアルなチャンネル間でのサウンド移動を実現しています。
- **Dolby Pro Logic / Dolby Pro Logic II：**Dolby Pro Logic（ドルビープロロジック）は、Dolby Surroundエンコードされたソース（Dolby Surroundロゴの付けられたビデオテープやレーザーディスクソフトなど）から映画館のようなサラウンドサウンドを再生するための再生方法です。フロント部全体での優れたサウンドの移動と、映画館に居るようなサラウンドの雰囲気を再生することができます。
  またDolby Pro Logic II はDolby Pro Logicをさらに進化させた新しいデコード技術です。2チャンネルのDolby Surroundプログラムソースからサラウンドチャンネルを左右独立チャンネルとした5.1チャンネルで再生することができます。Dolby Pro Logic II はMOVIEモードとMUSICモードを持ち、さらにMUSICモードはPanorama mode、Dimension、Center Widthの3つのパラメーターをそれぞれ調整することができます。（→29）
- **DTS：**DTSは、5つのフル周波数チャンネルで映画館のような効果を作りだします。ある場所から他の場所にズーム移動したり、またはリスナーを完全に取り囲むサウンドが再生できます。**DTS**は、**Dolby Digital**と同様、**Dolby Pro Logic**よりもはるかに改善された明瞭度とサラウンドやサウンド移動性を備えています。このモードはCD、LD、DVDソフトで利用できます。**DTS**は完全に対応しているCD、LD またはDVDプレーヤーでのみ再生できます。
- **STEREO:** ステレオ方式は、左右のスピーカーから通常のステレオサウンドを再生します。

ビデオに録画するときは、LISTEN モードをSTEREO にしてください。

L C R LS LFE RS **入力/出力状態表示はDOLBY DIGITALとDTSのときは、入力状態表示に、その他のときは出力状態表示になります。**

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。DOLBY、PRO LOGIC及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

「DTS」及び「DTS Digital Surround」はデジタルシアターシステムズの登録商標です。

LISTEN モードを手動で切り換えるには

本機で再生するディスクの内容によって、LISTEN MODE（LISTEN MODEボタンで選択）は下の表のように切り換えられます。

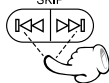
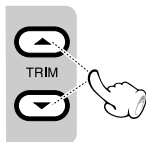
音源 / LISTEN モード	ディスク DOLBY DIGITAL (5.1ch)	DOLBY DIGITAL (2ch)	DTS	VCD/CD (PCM, MP3)	入力 CABLE/SAT/VCR (アナログ)
DOLBY DIGITAL	○	○			
DTS			○		
DOLBY PRO LOGIC II		○		○	○
DOLBY PRO LOGIC		○		○	○
STEREO	○	○	○	○	○

DTS 、DOLBY DIGITAL (5.1 チャンネル) 音源

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。
（DTS 音源のとき）
① DTS
② STEREO

（DOLBY DIGITAL（5.1 チャンネル）音源のとき）
① DOLBY D (DIGITAL)
② STEREO

PCM、DOLBY DIGITAL (2 チャンネル) 音源

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。
① PRO LOGIC (DOLBY PRO LOGIC)
（PLII MOVIE 、 PLII MUSIC）
② STEREO

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。
① PRO LOGIC (DOLBY PRO LOGIC)
② PLII MOVIE
③ PLII MUSIC

PLII MUSICを選択したとき、SET UP ボタンを押すとパノラマモード、ディメンジョン、センターウイズ（下記参照）が切り換えられます。

Dolby Pro Logic II: Music（ドルビープロロジックII ミュージック）モードについて

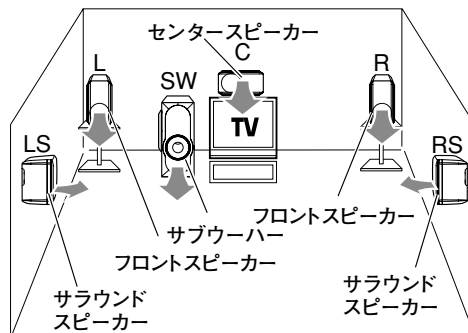
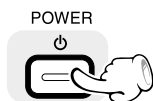
Panorama mode : フロントステレオのイメージをサラウンドスピーカーに広げて、包み込むようなサウンド環境を作ります。（パノラマモードを切り換えるには、ドルビープロロジックモードにして、**SET UP** ボタンを押します。 **PANOR OFF** または **ON**が表示されますので、**TRIM** (▲/▼) ボタンを押してONまたはOFFを選択します。

Dimension : 前後の音量バランスをフロント（前方）2ステップ、リアー（後方）2ステップの範囲で調整できます。サラウンド効果が強すぎると感じるときはフロント側に調整します。サラウンド効果が少ないと感じるときはバック側に調整します（ディメンジョンを切り換えるには、ドルビープロロジックモードにして、**SET UP** ボタンを2回押します。 **DIMEN 0**（またはFまたはRと数値）が表示されますので、**TRIM** (▲/▼) ボタンを押して **F-2**、**F-3**、**R-2** または **R-3**を選びます。）

Center Width : センターチャンネルの信号をフロントのL/Rチャンネルに振り分けることができます。
0〜7までの8段階でセンターチャンネルの信号を徐々にフロントチャンネルに振り分ける調整ができます。センターイメージが強すぎると感じるときなどに調整します。（センターウイズを切り換えるには、ドルビープロロジックモードにして、**SET UP** ボタンを3回押します。 **C WIDTH 0**（または別の値）が表示されますので、**TRIM**（▲/▼） ボタンを押して**0** 〜**7**を選びます。）

準備編

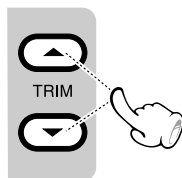
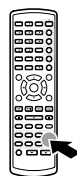
スピーカーの配置

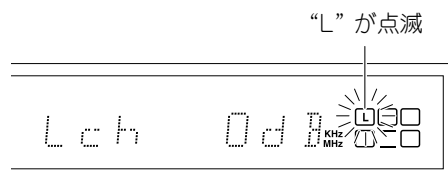
最適なサラウンドサウンドで楽しむには、スピーカーの配置が重要なポイントになります。
下図を参考にベストな配置を探してください。

本機は標準的な使い方でもっとも良好な音量バランスになるようにあらかじめ設定されています。

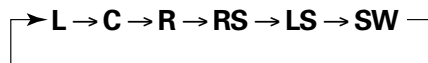
スピーカーレベルの初期設定値

左フロントチャンネル (Lch)(L)	: 0dB
センターチャンネル (Cch)(C)	: 0dB
右フロントチャンネル (Rch)(R)	: 0dB
右サラウンドチャンネル (RSch)(RS)	: 0dB
左サラウンドチャンネル(LSch)(LS)	: 0dB
サブウーハー(SW)	: 0dB

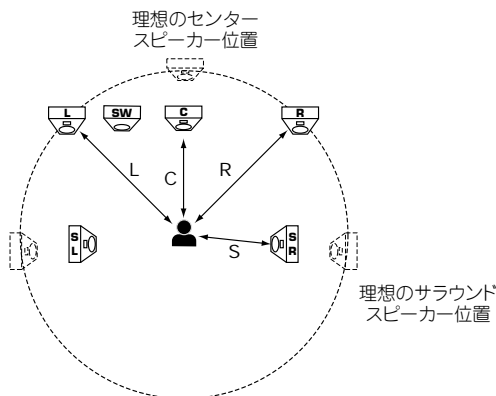
次のようにして、視聴環境に合わせた設定ができます。

スピーカーレベル設定

● 全てのスピーカーの設定が終わったら、ディレイタイム(遅延時間)の調整をします。(→31)。

テストトーンが左フロントスピーカーから聴こえます。**VOLUME CONTROL**ツマミで音量を設定して、後は設定が終わるまでそのままにします。

スピーカーが約2秒ごとに下のように切り換わります。.

L → C → R → RS → LS → SW

サブウーハー(**SW**)以外のスピーカーの音量が等しく聞こえるように、**TRIM (▲/▼)** ボタンで調整します。表示が点滅している間、そのスピーカーの調整ができます。
レベルは-10 dB から +10 dBまで調整できます。

サブウーハー(**SW**)は再生帯域が通常と異なるため、テストトーンでは調整できません。サブウーハーは音楽信号を聴いて調整してください。(→32)

リスニングポジション（視聴位置）は全てのスピーカーから等距離の位置が理想です。
センタースピーカーとサラウンドスピーカーに関して、ディレイタイム（遅延時間）の設定を行うことによって、仮想的に理想の配置を実現することができます。（センタースピーカーとサラウンドスピーカーは下図の点線の中にレイアウトすることができます。）

ディレイタイムの設定のしかた

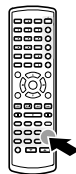
ディレイタイムは、スピーカーからリスニングポジションまでの距離に換算してセットします。

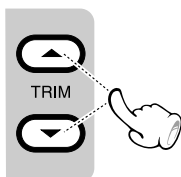
左右のフロントスピーカーは 12 m（40フィート）から0.9 m（3フィート）まで設定できます。
センタースピーカーとサラウンドスピーカーの設定はフロントスピーカーの設定によって変わります。フロントスピーカーより、遠い設定はできません。

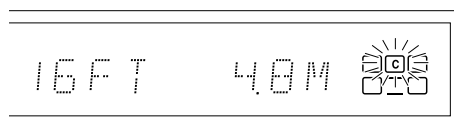
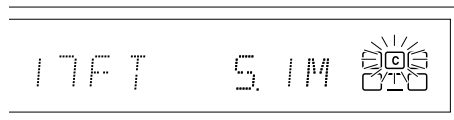
ディレイタイム設定

この操作は、30ページのスピーカーレベル設定に続けて操作します。

❶ SET UP（セットアップ）ボタンを押す。

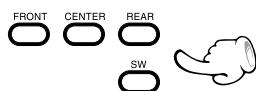
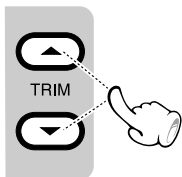
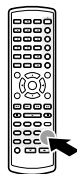
約5秒間操作をしないと元の表示に戻ります。

❷ TRIM（トリム）(▲/▼)ボタンを押して、フロントスピーカーの距離を設定します。

❸ SET UPボタンを押します。

SET UPボタンを押すとセンタースピーカーの設定に移ります。

❹ TRIM（トリム）(▲/▼)ボタンを押して、センタースピーカーの距離を設定します。

同様にステップ ❸ と ❹ を繰り返し、サラウンドスピーカーの設定をします。

- **スピーカーの設定を終わるときは SET UP ボタンを押します。**

音楽を聴いて、レベル設定をする

音楽を聴いて、サブウーハーや他のスピーカーのレベル設定をすることができます。

FRONT、CENTER、REAR、およびSWボタンを押すことによりそれぞれのスピーカーのレベル設定をすることができます。

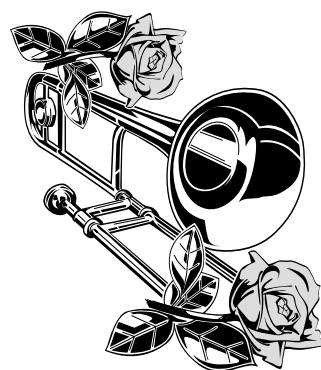
FRONT: フロントスピーカー
ボタンを押すごとに、スピーカーが切り換わります。
①L ch : 左スピーカー
②R ch : 右スピーカー

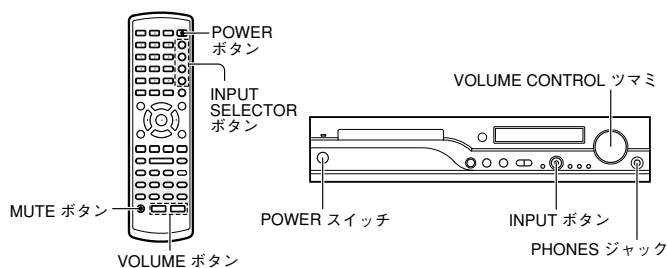
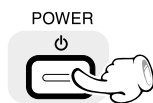
CENTER: センタースピーカー

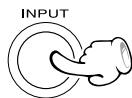
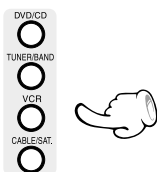
REAR: リアー(サラウンド)スピーカー
ボタンを押すごとに、スピーカーが切り換わります。
①LS ch : 左サラウンドスピーカー
②RS ch : 右サラウンドスピーカー

SW: サブウーハー

各スピーカーレベルは −10 dB から +10 dBまで調整できます。

DVT-6200 (JA/J)

準備

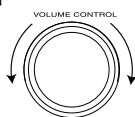
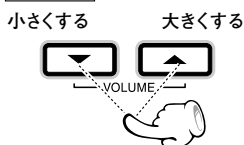
電源を入れる

基本的なつかいかた

1 入力を選ぶ

本体のINPUT ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

① チューナー (周波数表示)
② DVD/CD
③ VCR
④ CABLE/SAT

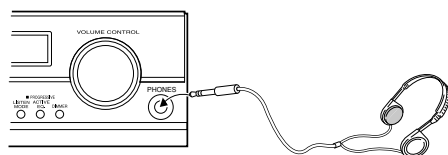
2 音量を調節する

- スタンバイモードの時、リモコンの入力切換ボタンを押すと自動的に電源が入り入力が切り換わります。
- スタンバイモードの時、EJECT ボタン、PLAY/PAUSEボタン、(PLAY ボタン)、BAND ボタン、INPUT ボタンを押しても電源が入りそれぞれの動作をします。
- ディスクがセットされているときDVD CDボタンを押すと、入力がDVD CDに切り換わり、ディスクの再生が始まります。

リモコンで操作する場合、始めに操作したい入力、または機器をINPUT SELECTOR ボタンなどで選んで、次の操作をしてください。

一時的に音を消すとき(ミュート機能)

- MUTEボタンを押します。
- もう一度押すと元の音量に戻ります。
- 音量調節の操作をしてもミュートが解除されます。

ヘッドホンで聴く

ヘッドホンのプラグを本体ドア内のPHONESジャックに挿し込む

本機はいろいろなサラウンドモードに対応していますが、ヘッドホンを挿し込むと、自動的にステレオモードに切り換わります。

- **ヘッドホンを挿し込むと、スピーカーの音は消えます。**

操作編

ACTIV EQ.（アクティブイコライザー）を選ぶ

音源のジャンル（映画、または音楽）に合わせて適切な音質を選ぶことができます。

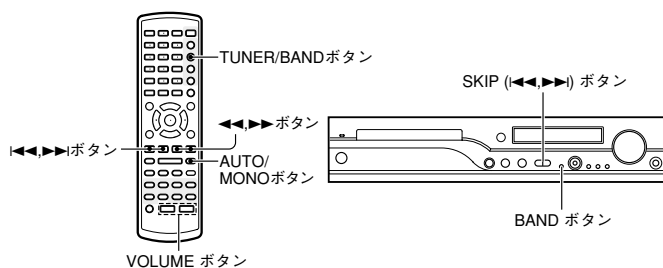
ACTIVE EQ. ボタンを繰り返し押す

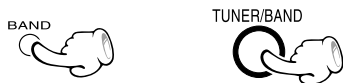
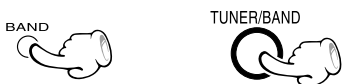
リモコン

ボタンを押すごとにモードが切り換わります。

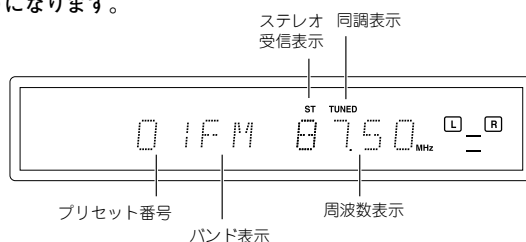
① CINEMA（シネマ）（映画）
② MUSIC（ミュージック）（音楽）
③ オフ

放送を聴く

あらかじめ40局までの放送局をプリセットし、呼び出すことができます。(→37)

ステレオ受信表示

1 TUNER入力を選ぶ

本体　リモコン

スタンバイ状態の時BANDボタンを押すと自動的に動作状態(オン)になります。

2 放送バンドを選ぶ

本体　リモコン

押すごとにバンドが切り換わります。

① FM
② AM

3 選局モードを選ぶ

リモコン

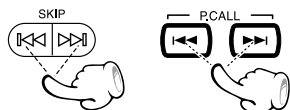
押すごとにモードが切り換わります。

① “AUTO(オート)”:自動選局モード
② “MONO(モノ)”:モノラルモード

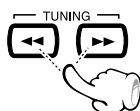
AUTO モードのときTUNING(チューニング) ボタンを押すと放送局を自動的に選局して止まります。ステレオ放送が、十分な強度で受信できるときは自動的にステレオモードになります。

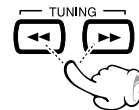
4 放送局を選ぶ

P.CALL (プリセットコール)

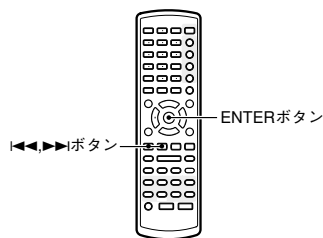
本体　リモコン

プリセットされた局を選ぶときは |◀◀, ▶▶| ボタンを押して選びます。押すごとにプリセットされた局が呼び出されます。

AUTO モード (自動選局)

リモコン

TUNING ボタンを押すと次の局を自動的に選局して止まります。

MONO モード (マニアル選局)

リモコン

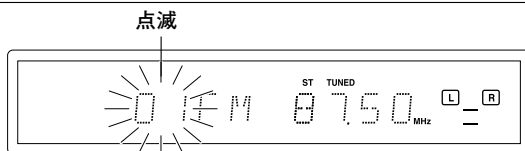
ボタンを押すごとに1ステップずつ周波数が換わります。
ボタンを押し続けると周波数が連続して換わります。
電波が弱く雑音が多い場合はMONO モード選択をしてください。(MONO モードではステレオ放送をモノラルで受信します。)

操作編

放送局を記憶させる（プリセット）

1 放送局を選ぶ（自動選局またはマニュアル選局）

→ 36

FMとAMを混在させてプリセットすることができます。
（例）
01: FM　81.50
02: AM　630
03: FM　88.00

2 ENTER（エンター）ボタンを押す

リモコン

表示が点滅している間に次の操作をしてください。

3 保存するプリセット番号を選ぶ

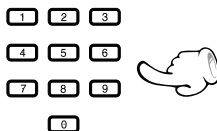
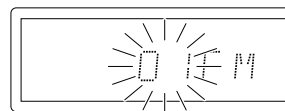
リモコン

数字ボタンで番号を入力する場合は、2桁の数字を入力すると、**ENTER**ボタンを押さずに確定します。

4 ENTERボタンを押す

リモコン

続けて他の局をプリセットする場合は 1 から 4 を繰り返す。

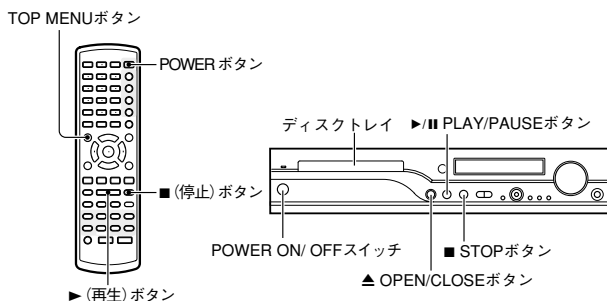
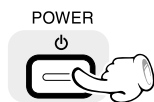
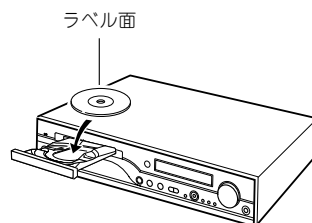
DVT-6200 (JA/J)

基本的な使いかた

準備

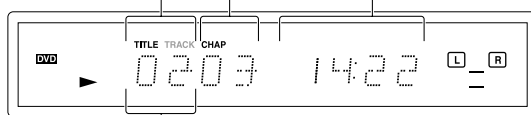
電源を入れる

1 ディスクを入れる

本体

❶ トレイを開ける

❷ ディスクを入れる

2 再生を始める

本体　リモコン

- トレイが開いているときに ►/II ボタン、► ボタンまたは▲(開閉)ボタン を押すと自動的にトレイが閉まり再生が開始されます。

メニュー画面が表示されたときは

対話型のDVDを再生するとメニュー画面が表示されます。この場合、リモコンのカーソルボタンでメニューを選び、ENTER(エンター)ボタンを押して再生をスタートさせます。

再生一時停止をするには

本体　リモコン

PLAY/PAUSE(プレイ/ポーズ)(►/II)ボタンを押すたびに再生、一時停止を繰り返します。

PAUSE(II)ボタンを押すと一時停止します。

再生を止めるには

本体　リモコン

メニュー画面がDVDに記録されている場合、TOP(トップ) MENU(メニュー)ボタンまたはMENUボタンを押すとメニュー画面が表示されます。メニュー画面ではカーソルボタンでメニューを選択することができます。

または

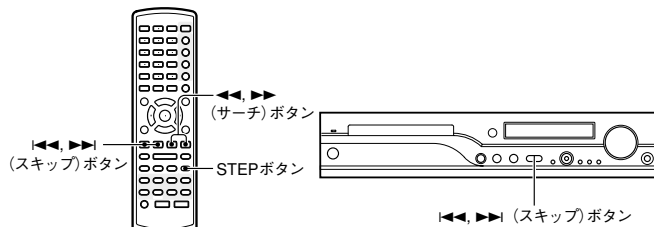
レジューム再生機能（DVDのみ）

再生中に ■(停止)ボタンを1回押すと再生を停止し、再生を再開したときは、停止した位置から再生が始まります。この機能をレジューム機能といいます。

レジューム中に ■(停止)ボタンをもう一度押すとレジュームが解除されます。

操作編

ディスクの色々な再生

- **DVD、VCDの再生でスキップ、サーチ、ステップやスロー再生中は音声が出ません。**
- **映画などの始まりの画面などではスキップなどの再生機能は働きません。**

CD DVD VCD チャプターや、トラック(曲)を飛び越す

- ボタンを押すごとにチャプターまたはトラック(曲)を飛び越して、選んだチャプターまたはトラック(曲)のはじめから再生を開始します。
- 再生中に |◀◀ ボタンを1回押すと、そのチャプターまたはトラック(曲)のはじめから再生を開始します。

- ディスクがチャプターに分けられていない場合はチャプターの機能は働きません。

CD DVD VCD サーチ(早送り、早戻し)

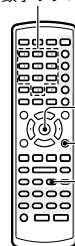
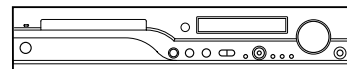
- 再生中に ◀◀ または ▶▶ ボタンを押す。
- 押すごとにサーチスピードが切り換わります。

  ① FF 2 X (▶▶ボタン) または FR 2 X (◀◀ ボタン)
  ② FF 4 X (▶▶ ボタン) または FR 4 X (◀◀ ボタン)
  ③ FF 8 X (▶▶ ボタン) または FR 8 X (◀◀ ボタン)
  ④ FF 16X (▶▶ ボタン) または FR 16X (◀◀ ボタン)
  ⑤ 通常再生

- ▶ ボタンを押すと通常再生に戻ります 。

DVD VCD ステップ(コマ送り)再生

リモコン

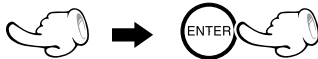
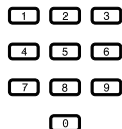
- 再生中にSTEP(ステップ)ボタンを押す。
- ボタンを押すごとに1コマずつ再生します。
- 通常再生に戻るには ▶ ボタンを押します。

DVD VCD スローモーション再生

リモコン

- 再生中にSLOW（スロー）ボタンを押す。
- 押すごとにスローモーションのスピードが変わります。
  - ① SF 1/4
  - ② SF 1/8
  - ③ SF 1/16
  - ④ 通常再生
- ► ボタンを押すと通常再生に戻ります 。

CD DVD VCD 好きなDVDのタイトルまたはCDのトラック（曲）から再生する

DVDビデオではディスクの内容が複数のタイトルに分けられており、タイトルのなかをさらに複数のチャプターに分けられています。（映画など、DVDの内容によっては複数のタイトルや、チャプターに分けられて いない場合もあります。）

リモコン

- 好みのトラック（CD/VCD）やタイトル（DVD）から再生する。

❶ 数字ボタンで数字を入力する。

（例） トラック（タイトル）23を選ぶとき： 2 3

❷ ENTER（エンター）ボタンを押す。

- VCDでP.B.C. オンモードのときは数字ボタンで選べない場合があります。 →48

DVD CD VCD オンスクリーン表示

テレビ画面にDVDのチャプターや、CD/VCDのトラック（曲）の経過時間や、残り時間などの表示をすることができます。

リモコンのON SCREENボタンを押します。

押すごとに表示が切り換わります。

DVD再生時

① タイトル番号と、チャプター番号表示
（例） **TITLE 01/02 CHAPTER 005/015**
00:05:12（タイトルの経過時間）
② "**TITLE REMAIN**"（タイトル リメイン）：タイトルの残り時間表示
③ "**CHAPTER ELAPSED**"（チャプター イラプスド）： チャプターの経過時間
④ "**CHAPTER REMAIN**" ： チャプターの残り時間
⑤ "**OFF**"

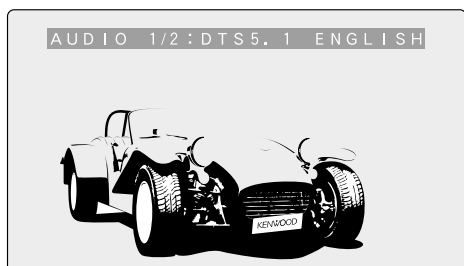
CD/VCD 再生時

① "**SINGLE ELAPSED**"（シングル）
再生中のトラック（曲）の経過時間
（例） **22:23 TRACK 05/15**
② "**SINGLE REMAIN**" ：再生中のトラックの残り時間
③ "**TOTAL ELAPSED**"*（トータル） ：再生中のディスクの経過時間
④ "**TOTAL REMAIN**"* ：再生中のディスクの残り時間
⑤ "**OFF**"（オフ）

* 印の項目はVCDでP.B.C.オンモードのときは表示されません。

DVD 音声言語を選ぶ

ディスクに複数の言語が記録されているときはリモコンのAUDIO（オーディオ）ボタンを押すと、ディスクの言語を切り換えることができます。

再生中にリモコンのAUDIOボタンを押す。

AUDIOボタンを押すごとに言語が切り換わります。

- 約2秒操作しないと画面上の表示は消えます。

1. ディスクに複数の言語が記録されていない場合は切り換えられません。
2. 初期設定で設定した言語に関わらず、**AUDIO**ボタンで切り換えるとそのディスクの再生中は一時的に選んだ言語が優先されます。

VCD 音声出力のチャンネルを切り換える

VCDの音声出力を左チャンネルだけ、右チャンネルだけ、またはステレオ出力に切り換えることができます。（音声多重カラオケなどに便利です。）

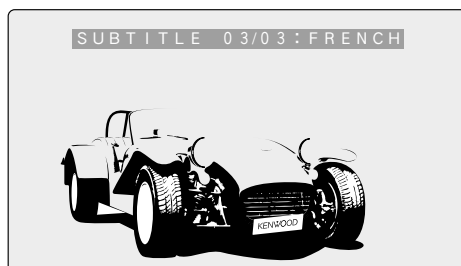
VCDの再生中にリモコンのAUDIOボタンを押す。

押すごとに次のように切り換わります。

→ ① **LEFT**（レフト）（左）
② **RIGHT**（ライト）（右）
③ **STEREO**（ステレオ）

DVD 字幕言語を選ぶ

DVDの再生しているとき、字幕の言語をを切り換えることができます。

再生中にリモコンのSUBTITLE（サブタイトル）ボタンを押す。

SUBTITLEボタンを押すごとに字幕が切り換わります。

- 約2秒操作しないと画面上の表示は消えます。

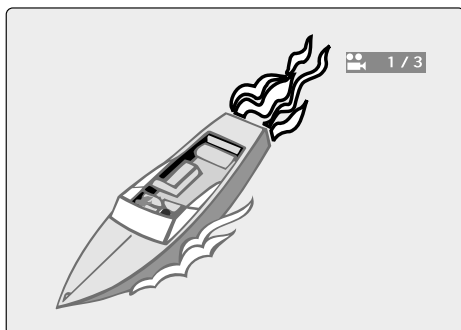
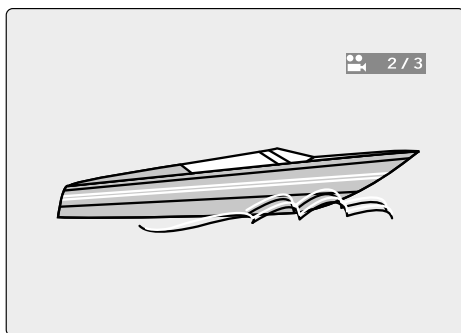
字幕を表示させないときはSUBTITLE ボタンを繰り返し押して表示を消します。

1. ディスクに複数の言語が記録されていない場合は切り換えられません。
2. ディスクによっては字幕言語のメニューが表示されるものもあります。

DVD カメラアングルを選ぶ

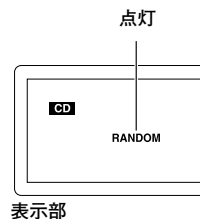
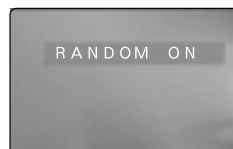
ディスクによってはマルチアングル機能に対応したものが有ります。1つのアングルしか記録されていないディスクではこの機能は働きません。

❶ 再生中にリモコンのANGLE ボタンを押す。

複数のアングルで記録されたシーンではマルチアングルのマークが表示されます。

❷ ANGLEボタンを押して、カメラアングルを選ぶ。

初期設定メニューで「**アングル**」をオンにしないとマルチアングルのマーク（🎥）は表示されません。

CD VCD ランダム再生

ディスク内のトラック（曲）を順不同に再生することができます。

❶ 停止中にリモコンのRANDOMボタンを押す。

リモコンのRANDOMボタンを押すごとにランダムオン/オフが切り換わります。

❷ ►（再生）ボタンを押して、ランダム再生を開始します。

- 約2秒操作しないと画面上の表示は消えます。

"MP3/JPEG ランダム再生" → 52

ランダム再生をやめるには

❶ ■（停止）ボタンを押して再生を止める。

❷ RANDOM ボタンを押して、ランダム再生をやめる。

ランダム再生を繰り返す

ランダム再生中にリモコンのREPEATボタンを押す。

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

① REPEAT ONE（再生中のトラックのみ繰り返し）
② REPEAT ALL（ディスクを繰り返しランダム再生する）
③ REPEAT OFF（繰り返し再生の解除）

メモ

- ディスクのすべてのトラック（曲）をランダムに再生した後停止します。
- DVDの再生中はランダム再生できません。
- VCDでP.B.C.オンモードのときは、ランダムオンにすると、P.B.C.オンモードが解除されます。

DVT-6200 (JA/J)

DVD CD VCD リピート（繰り返し）再生

お好みのタイトル、チャプター、トラック（曲）またはディスク全体を繰り返し再生することができます。

DVD再生時

- "CHAPTER REPEAT"（チャプター リピート）：再生中のチャプターを繰り返し再生。
- "TITLE REPEAT"（タイトル）：再生中のタイトルを繰り返し再生。

CD/VCD 再生時

- "REPEAT ONE"（ワン）：再生中のトラックを繰り返し再生。
- "REPEAT ALL"（オール）：再生中のディスク全体を繰り返し再生。

再生中にリモコンのREPEATボタンを押す。

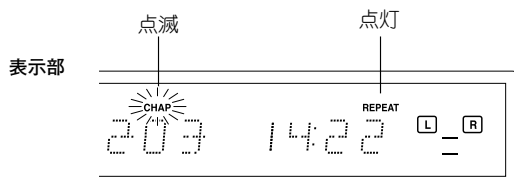
押すごとにリピートモードが切り換わります。

DVD再生時

① "CHAPTER REPEAT ON"（オン）："REPEAT "表示が点灯、"CHAP"表示が点滅
② "TITLE REPEAT ON"："REPEAT" 表示が点灯、"TITLE"表示が点滅
③ "REPEAT OFF"（オフ）

CD/VCD再生時

① "REPEAT ONE"："REPEAT "表示が点灯、"TRACK"表示が点滅
② "REPEAT ALL"："REPEAT" 表示点灯
③ "REPEAT OFF"

[CHAPTER REPEAT の表示例]

- リピート再生をやめるときは、**REPEAT**ボタンを押して、"**REPEAT**"表示を消します。
- 約2秒操作しないと画面上の選択表示は消えます。

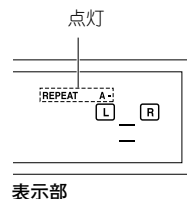
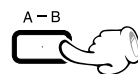
"MP3、JPEG リピート再生" → 52

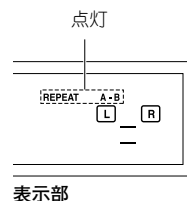
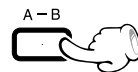
VCDでP.B.C.オンモードのときはリピート再生できません。

→ 48

DVD CD VCD A-Bリピート再生

お好みの区間を繰り返し再生することができます。
開始部分のA部から終了部分のB部まで繰り返します。

❶ **リピートを開始したい位置でリモコンのA-Bボタンを押す。**

❷ **リピートを終了したい位置にきたらA-Bボタンを押す。**

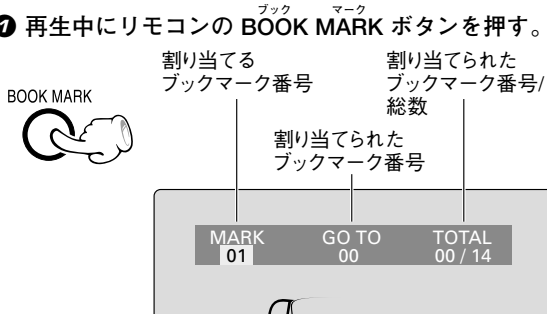
AとBの区間を繰り返し再生します。

- A-Bリピート再生を解除するときは**A-B**ボタンを押します。
- 約2秒操作しないと画面上の選択表示は消えます。

操作編

DVD CD VCD ブックマーク機能を使う

ブックマーク(しおり)を付けておくと、すぐにその場所に飛び越すことができます。ブックマークは14ヶ所まで付けることができます。

ブックマークを付ける

❶ 再生中にリモコンの BOOK MARK ボタンを押す。

❷ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、付けたいブックマーク番号を選ぶ。

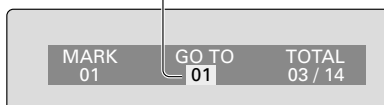
❸ マークを付けたいシーンにきたら、ENTERボタンを押す。

MARK 01 GO TO 01 TOTAL 01 / 14

- 同様にして、14のブックマークまで付けられます。
- すでにブックマークされている番号を選んで ENTER ボタンを押すと新しい位置が記憶されます。

ブックマークされたシーンを呼び出す

❶ 再生中に、リモコンの BOOK MARK ボタンを押す。

❷ リモコンのカーソル右 (▶) ボタンを押して、呼び出したいブックマーク番号を選ぶ。

❸ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、ジャンプしたいブックマーク番号を選び、ENTERボタンを押す。

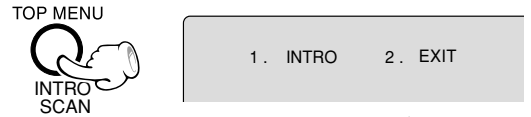
- 14を越えた後もブックマークを付けることができますが、前に付けたブックマークが新しいブックマークに入れ替わります。
- ディスクによってはブックマーク機能が働かないものがあります。
- VCDでP.B.C.オンモードのときはブックマーク機能は働きません。 →48

CD VCD イントロスキャン機能を使う

CD イントロスキャン再生

CDの各トラック（曲）のはじめの10秒間だけ次々と再生していきます。

❶ 停止中に、リモコンの INTRO SCAN ボタンを押す。

1． INTRO　　2． EXIT

❷ リモコンの 数字ボタン"1"を押して、INTROを選び、ENTERボタンを押す。

- 各トラックの最初の10秒間を次々と再生します。
- 全部のトラックを再生し終わると停止します。
- イントロスキャン再生中に、ENTERボタンまたは INTRO SCAN ボタンを押すとそのトラックから通常再生に戻ります。

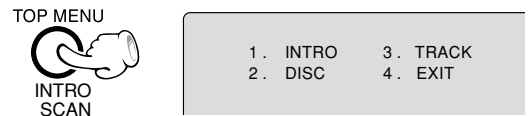
2 (EXIT) を選ぶとイントロスキャン再生を終了します。

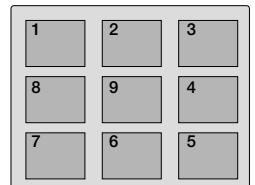
VCD イントロスキャン再生

VCDのイントロスキャン再生には3つのモードがあります。

1. INTRO : 各トラックの始めの8秒間を次々に再生します。
2. DISC　: 最初の9トラックを次々と再生し、テレビ画面に表示します。SKIPボタンを押すと次の9トラックを再生して、画面に表示します。
3. TRACK: 選んだトラックを9分割してテレビ画面に表示します。

❶ 停止中に、リモコンのTOP MENUボタンを押す。

1． INTRO　　3． TRACK
2． DISC　　 4． EXIT

❷ リモコンの数字ボタンで、1 (INTRO), 2 (DISC), または 3 (TRACK) を選び、ENTERボタンを押す。

"DISC" または "TRACK" のとき、画面が9分割して、表示されます。

▶▶I（SKIP UP）ボタンを押すと次の9画面が表示されます。
数字ボタンでどれか1つの番号を選ぶとその画面から再生が始まります。

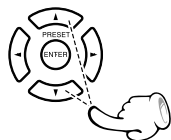
VCDでP.B.C.オンモードのときはイントロスキャン機能は働きません。 →48

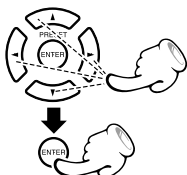
CDまたはDVDの好きなトラック(曲)を好きな順にプログラムして聞くことができます。

プログラムをする

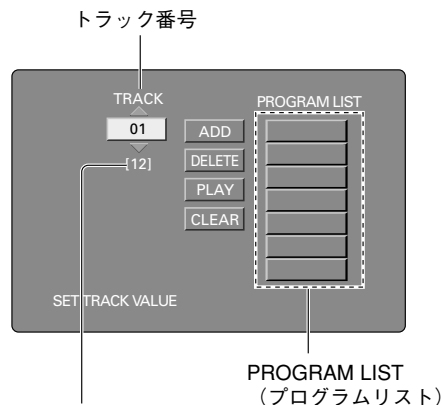
❶ 停止中に、リモコンの PGM(プログラム) ボタンを押す。

プログラム画面が表示されます。

❷ リモコンのカーソル上下 (▲/▼)ボタンで、好きなトラックを選ぶ。

❸ 画面上の"ADD(アド)" アイコンを選び、ENTER(エンター)ボタンを押す。

選んだトラックがPROGRAM(プログラム) LIST(リスト)に追加されます。

❹ 手順 ❷ - ❸を繰り返し、21トラックまでプログラムすることができます。

❺ 再生を開始するには"PLAY(プレイ)"アイコンを選んで、ENTERボタンを押す。

メモ

"ADD(アド)" アイコン	: "PROGRAM LIST"にトラックを追加する
"DELETE(デリート)" アイコン	: "PROGRAM LIST"から削除する
"INSERT" アイコン	: "PROGRAM LIST"にトラックを挿入する
"PLAY(プレイ)" アイコン	: プログラム再生をする
"CLEAR(クリア)" アイコン	: このアイコンを選んで ENTER ボタンを押すと、PROGRAM LISTから数値が消去され、プログラム画面も消えます。

- MP3やJPEG のディスクはこのプログラムモードではプログラムできません。(MP3、JPEG プログラム再生→53)
- 停止 (■) ボタンを押すと再生を停止します。プログラム再生を再開するときは PGM ボタンを押して、プログラム画面を表示し、"PLAY" アイコンを選んで、ENTERボタンを押します。

プログラム再生を繰り返す

プログラム再生中にリモコンのREPEAT(リピート)ボタンを押す。

押すごとにモードが切り換わります。

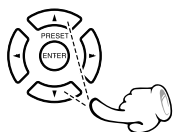
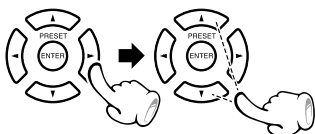
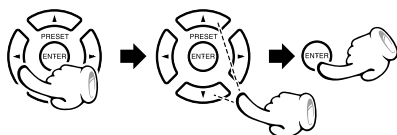
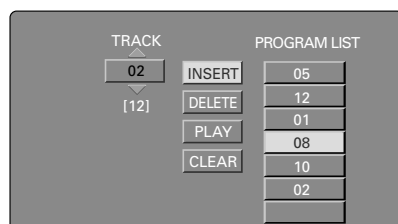
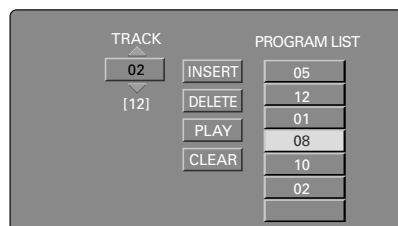
① "REPEAT ONE(ワン)"
② "REPEAT ALL(オール)"
③ "REPEAT OFF(オフ)"

操作編

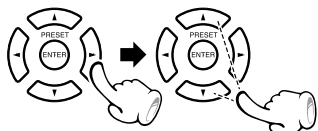
プログラムにトラックを挿入する

停止中に、リモコンの PGM(プログラム) ボタンを押す。

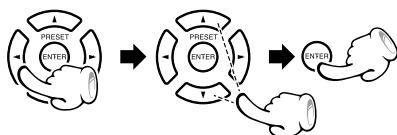
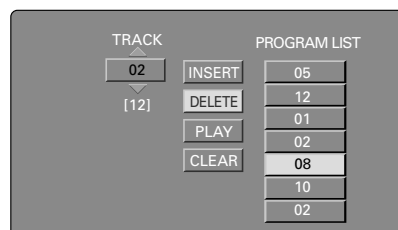
プログラム画面が表示されます。

❶ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンで、挿入するトラックを選ぶ。

❷ カーソル右 (►) ボタンで画面のカーソルをPROGRAM(プログラム) LIST(リスト)に移動し、カーソル上下 (▲/▼) ボタンで挿入する欄を選ぶ。(画面のカーソルの欄の色が変わります。)

❸ カーソル左 (◄) ボタンを押し、上下 (▲/▼) ボタンで、"INSERT(インサート)"アイコンを選び、ENTER(エンター)ボタンを押す。

新しいトラックが、PROGRAM LISTの選ばれている欄の後(下)に追加されます。

プログラムを消去する

停止中に、リモコンのP.MODEボタンを押す。

❶ カーソル右 (►)ボタンを押し、PROGRAM LISTに画面のカーソルを移動して、上下(▲/▼)ボタンで、消去する欄を選ぶ。(画面のカーソルの欄の色が変わります。)

❷ カーソル左 (◄) ボタンを押し、上下 (▲/▼) ボタンで、"DELETE(デリート)"アイコンを選び、ENTER(エンター)ボタンを押す。

選ばれた欄のトラックが消去されます。

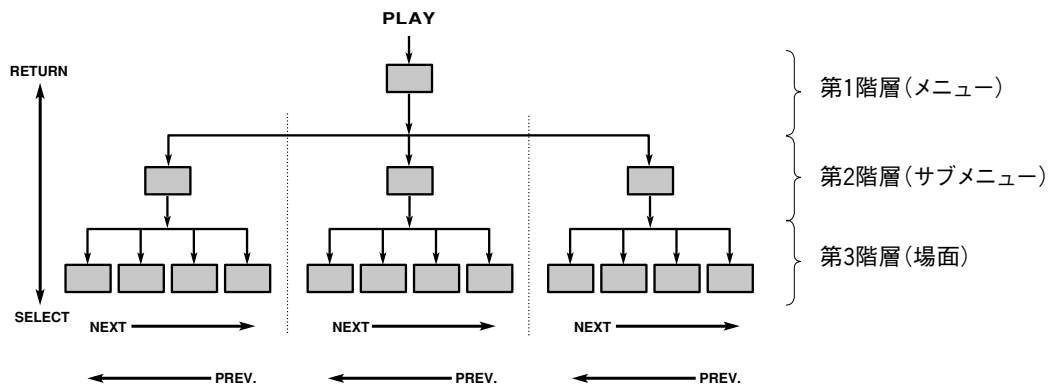
VCDでP.B.C.オンモードのときはプログラム機能は働きません。 →48

プログラム再生をやめるには

次の場合プログラム再生が解除されます。

1. トレイを開閉したとき。
2. 電源をオン、オフしたとき。
3. プログラム画面が表示されているときCLEAR(クリアー)ボタンを押す。

VCDメニューの階層構造について

メニュー画面の含まれている、P.B.C.付きVCD（ビデオCD）を再生したとき、メニュー画面で項目を選ぶと、さらに詳細な項目のメニューが表示されることがあります。このように、いくつものメニューが段階的につながり、重なり合っている状態を階層構造といいます。繰り返しメニュー画面で選んでいくことで、目的の場面に到達できます。

階層構造の一例

進むとき

カーソルボタン（▲/▼/◀/▶）、または数字ボタンを使ってメニュー画面で項目を選ぶと、一つ下の階層メニューへ進みます。進んだ先が、再生される「場面」のときは、その内容が再生されます。

● 各階層で選択可能なメニュー（場面）が複数ある場合は、▶▶I（NEXT（ネクスト））、I◀◀（PREV（プレビアス））ボタンで画面の切り換えができます。

戻るとき

RETURN（リターン）ボタンを押すたびに、一つ上の階層のメニューへ戻っていきます。

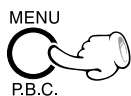
操作編

VCD再生時に使われる主な操作ボタンと表示例

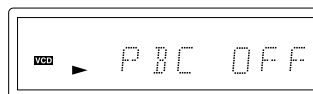
ソフトジャケットの表示	▶	⤺●	I◀◀	▶▶I	▶ (Select)
KENWOODの操作ボタン	▶	RETURN	I◀◀	▶▶I	ENTER

ジャケットの表示は、ソフトによって上記と異なるものもあります。

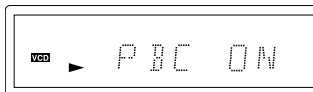
VCD P.B.C.機能付きVCDで、メニュー再生機能を使わない再生（P.B.C.メニュー機能オフ）をするには

VCDの再生または停止中に、リモコンの MENU（メニュー） (P.B.C.)ボタンを押す。

MENU
P.B.C.

- トラック番号は、ディスクのジャケットなどを参照してください。
- P.B.C.オフモード：メニュー再生機能無しで再生。

P.B.C. オフモード

メニュー再生（P.B.C.メニュー機能オン）に戻すには

MENU (P.B.C.) ボタンを再度押す

P.B.C. オンモード

再生中にP.B.C. を切り換えると再生は停止します。

MP3、JPEGの手引き

本機で再生できるMP3、JPEG メディアについて

使用できるメディア　：CD-ROM、CD-R、CD-RW
使用できるフォーマット：ISO9660 level 1（拡張フォーマットを除く）
再生できるファイル　：MP3 ファイル、JPEGファイル

本機で再生するメディアの作成について

MP3ファイルに圧縮するとき

MP3ファイルに圧縮するときは、圧縮ソフトの転送ビットレートを次のように設定してください。
MP3 ファイル：推奨128kbps（32kbps-320kbps）

- **本機は32 kHz、44.1 kHz（推奨）、48 kHz のサンプリング周波数に対応しています。**
- **本機はID3-TAG Ver. 1.に対応しています。**
- **MP3データーのデジタル出力はMP3データーのままではなく、PCMデーターとして出力されます。**

ファイル名や、フォルダ名を付けるとき

ファイル名や、フォルダ名は半角英字のA～Z、半角数字の0～9、半角の _（アンダースコア）を使って付けてください。
ファイル名には必ず拡張子 "mp3（MP3ファイル）" または "jpg（JPEGファイル）" を付けます。

- **MP3以外のファイルに "mp3"の拡張子を絶対に付けないでください。MP3以外のファイルに"mp3"の拡張子が付いていると本機が再生しようとして、大きな雑音が出て、スピーカーなどが故障する恐れがあります。**
- **JPEG以外のファイルに"jpg" の拡張子を絶対に付けないでください。IJPEG以外のファイルに"jpg" の拡張子が付いていると正常に動作しません。**

メディアとファイルの確認をする

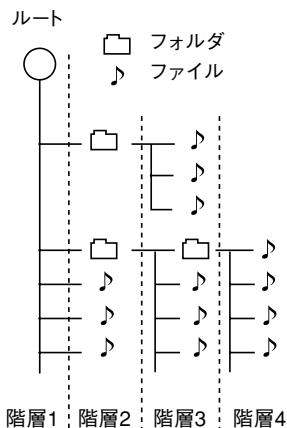
MP3ファイルをメディアに書き込む前に、書き込みをするパソコンで、そのファイルが正しく再生されることを確認してください。
また、書き込まれたファイルが正しく再生されることを確認してください。

- **メディアに書き込んでる途中では、ファイルが正しく再生されることを確認することはできません。**

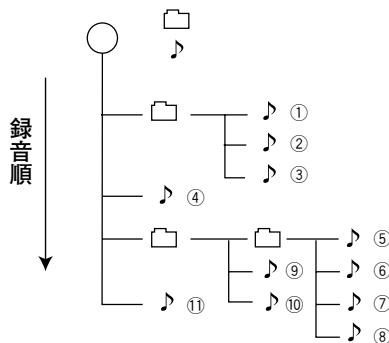
メディアに書き込むとき

書き込んだメディアは必ずセッションクローズまたはファイナライズをしてください。セッションクローズまたはファイナライズされていないメディアを本機で再生すると、正しく再生できない場合があります。

- **書き込みソフトによっては、書き込まれたフォルダ名やファイル名が正しく表示されない場合があります。**
- **本機で再生するMP3、JPEG以外のファイルや、フォルダなどを書き込まないようにしてください。**
- **MP3ファイルをメディアに書き込むときは、10セッション以内で書き込むことをおすすめします。**
- **マルチセッションディスクの場合、再生が始まるまで時間がかかることがあります。**
- **MP3、JPEG のファイル（CD-ROM）と音楽CD（CD-DA）を1枚のメディアに書き込むと再生できない場合があります。**

階層構造の例

再生順の例

下の図の例では①～⑪の順に再生されます。

フォルダ名、ファイル名は8文字まで表示されます。フォルダ名、ファイル名が8文字を越えている場合は短縮されて表示されます。

MP3、JPEGファイルの再生

- メディアの限界を超えた数のファイルや、フォルダの再生はできません。
- ディスクの記録された情報を読みとって、再生が始まるまで多少時間がかかることがあります。

MP3 またはJPEGディスクをセットしたときに点灯

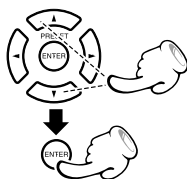
再生

❶ 停止中に、リモコンのREPEAT（リピート）ボタンを押して、再生モードを選ぶ。

- MP3またはJPEGディスクをセットするとテレビ画面にスマートナビ 画面が表示されます。

押すごとに、再生モードが切り換わります。

① FOLDER（フォルダ）: 選択したフォルダを再生。
② DISC（ディスク）: ディスクのすべてのファイルを再生。
③ FOLDER REPEAT（リピート）: 選択したフォルダを繰り返し再生。
④ DISC REPEAT : ディスクのすべてのファイルを繰り返し再生。
⑤ REPEAT ONE（ワン）: 選択したファイルを繰り返し再生。

❷ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して再生するファイルを選び、 ENTER（エンター）ボタンを押して再生を開始する。

- JPEGファイルを再生すると、画像が、次々と切り換わります。(スライドショー)
切り換わる早さはファイルの容量によって変化します。

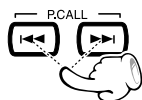
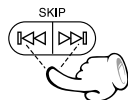
再生を止めるときは ■ (停止)ボタンを押します。

スマートナビ画面

ファイルを飛び越す

再生中に |◄◄ または ►►| ボタンを押す

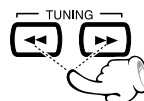
本体

リモコン

|◄◄ : 手前に飛び越す
►►| : 先に飛び越す

- 再生モードが"FOLDER"、"FOLDER REPEAT"または "REPEAT ONE"のとき、再生中のフォルダーを越えて飛び越すことはできません。
- 再生中はカーソル上下 (▲/▼) ボタンでファイルを選ぶことはできません。|◄◄または►►|ボタンで選んでください。

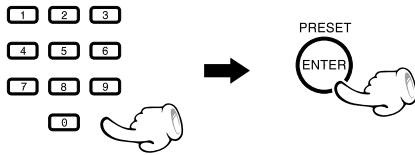
サーチ(MP3 ファイルのみ)

再生中に ◄◄ または ►► ボタンを押す

リモコン

- 押すごとにサーチスピードが変わります。

① FF 2 X(►► ボタン)または FR 2 X(◄◄ ボタン)
② FF 4 X (►► ボタン)またはFR 4 X (◄◄ ボタン)
③ FF 6 X (►► ボタン)またはFR 6 X (◄◄ ボタン)
④ FF 8 X (►► ボタン)またはFR 8 X (◄◄ ボタン)
⑤ 通常再生

再生するファイルを直接選択する

リモコンの数字ボタンで再生したいフォルダまたはファイル番号を押す。

(例)
ファイル番号 23を選ぶ: 2 3

- フォルダを選んだ場合フォルダの内容が表示されます。
- ファイルを選んだ場合選んだファイルが再生します。

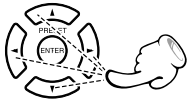
スマートナビ画面

ファイル、フォルダ番号

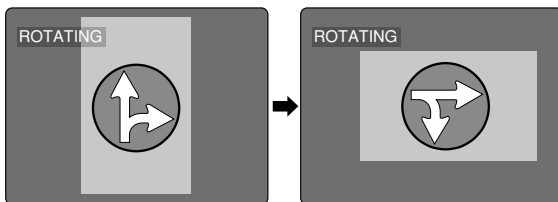
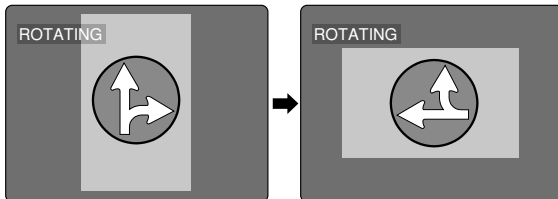
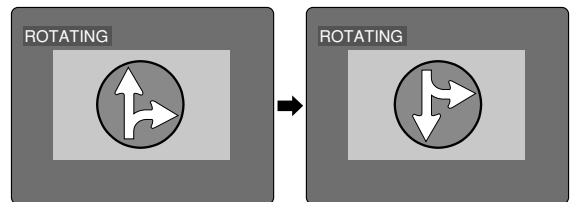
番号を選ぶにはスマートナビ画面を参照してください。本機の表示部に表示される番号はフォルダごとの番号が表示されるため、数字ボタンで選んだ番号とは異なります。

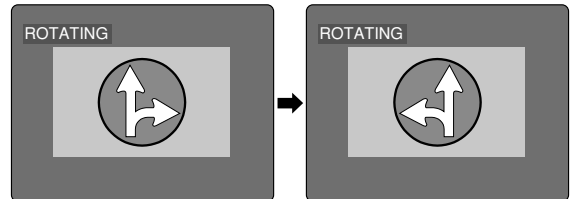
画像を回転させる(JPEGファイルのみ)

画像を回転させて表示することができます。

JPEGファイルを再生中にリモコンのカーソル (◄/►/▲/▼) ボタンを押す。

カーソルボタンを押すと次のように切り換わります。
► ボタン: 時計方向に90°回転
◄ ボタン: 反時計方向に90°回転
▲ ボタン: 上下反転
▼ ボタン: 左右反転

表示例

►ボタンを押したとき

◄ボタンを押したとき

▲ボタンを押したとき

▼ボタンを押したとき

MP3、JPEGリピート再生

MP3、JPEGのリピート再生はスマートナビ画面を見ながら操作します。

お好みのファイルまたはフォルダを繰り返し再生することができます。

- "**REPEAT ONE**" : 選んだファイルを繰り返し再生します。
- "**FOLDER REPEAT**" : 選んだフォルダを繰り返し再生します。
- "**DISC REPEAT**" : ディスクを繰り返し再生します。

❶ 停止中に、リモコンのREPEATボタンを押す。

リピートモードのとき
REPEAT点灯

表示部

❷ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して、ファイルを選び、ENTERボタンまたは再生(►)ボタンを押して再生を開始する。

押すごとに、再生モードが切り換わります。

① **FOLDER :** 選択したフォルダを再生。
② **DISC :** ディスクのすべてのファイルを再生。
③ **FOLDER REPEAT :** 選択したフォルダを繰り返し再生。
④ **DISC REPEAT :** ディスクのすべてのファイルを繰り返し再生。
⑤ **REPEAT ONE :** 選択したファイルを繰り返し再生。

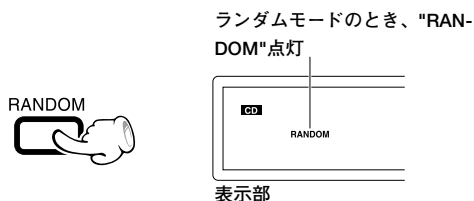
MP3やJPEG以外のファイルが含まれているディスクではDISC REPEATを選ばないでください。

MP3、JPEGランダム再生

再生中のフォルダのファイルをランダム(順不同)に再生することができます。

❶ 停止中に、リモコンのRANDOMボタンを押す。

ランダムモードのとき、"RANDOM"点灯

表示部

リモコンのRANDOMボタンを押すたびにオン、オフを繰り返します。

❷ ランダム再生するフォルダのファイルを選び再生(►)ボタンを押します。
ランダム再生がスタートします。

- **RANDOM ON** モードにすると、再生モードは自動的に**FOLDER**に切り換わります。
- RANDOM ON モードのときフォルダー内のファイルをすべて1回ずつランダム(順不同)に再生して停止します。

ランダム再生を取り消すには

❶ 停止(■)ボタンを押して、再生を停止する。

❷ RANDOMボタンを押して、ランダムモードを取り消す。

ランダムリピート再生をするには

停止中に、リモコンのRANDOMを押した後、REPEATボタンを押す。

- ランダムリピートモードのとき、フォルダ内のすべてのファイルをランダムに繰り返し再生します。この場合、同じファイルが続けて再生されることもあります。

ランダムリピート再生を取り消すには

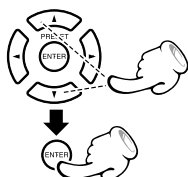
停止(■)ボタンを押して、ランダムリピート再生を停止させ、REPEATまたはRANDOMボタンを押す。

MP3 、JPEGプログラム再生

MP3、JPEGファイルを好きな順にプログラムして再生することができます。

プログラムをする

❶ 停止中に、リモコンの PGM ボタンを押す。

❷ リモコンのカーソル上下 (▲/▼)ボタンを押して、プログラムするファイルを選びENTER(エンター)ボタンを押す。

- 選んだファイルがプログラムウインドウ内に表示されます。
- 手順 ❷.を繰り返すことにより、最大100ファイルまでプログラムすることができます。
  プログラムできるファイル数はディスクに含まれるファイルや、フォルダの数、ファイル名やフォルダ名に使われている文字数によって異なります。

❸ 停止(■) ボタンを押しプログラムを確定する。

- 停止(■)ボタンを押してプログラムを確定した後はプログラムの修正はできません。

❹ 再生(►) ボタンを押して、再生を開始する。

- カーソルが「ファイル」上にあることを確認して ► ボタンを押してください。カーソルが「フォルダ」上にあるときは再生できません。

プログラムを削除する

プログラム中にプログラムウインドウにカーソルを移動し、リモコンのカーソル上下 (▲/▼)ボタンを押して、削除するトラックを選んだ後リモコンのCLEAR(クリアー)ボタンを押す。

- 停止(■)ボタンを押してプログラムを確定した後はプログラムの修正はできません。
- すべてのプログラムを解除するには停止中に、リモコンの **PGM**ボタンを押します。またはディスクトレイを開閉してもすべてのプログラムを解除できます。

MP3、JPEGディスクのプログラムリピート再生はできません。

故障と思われる症状ですが...

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状に合わせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンの時の電源コードの抜き差しや、外部からの要因により、マイコンが誤動作(操作できない、表示部の誤表示など)することがあります。この場合、電源スイッチを切り、数秒してから再度電源スイッチを入れてください。
右の手順でマイコンがリセットされ、工場出荷状態に戻ります。

❶ リモコンのMENU(メニュー)ボタンを押し、**初期設定メニュー画面**を表示させる。
❷ **「初期設定」**を選択し、ENTER(エンター)ボタンを押す。
❸ **「デフォルト」**を選択し、カーソル右(▶)ボタンを押してRESET(リセット)を選択する。
❹ 下のように数字ボタンを押す。
1, 3, 9, 7, の順に押し、**ENTER** ボタンを押す。

マイコンがリセットされ、パスワードや、パレンタルレベルの設定も含めて工場出荷状態に戻ります。

レシーバー(ラジオ)、スピーカー部

症　状	原　因	処　置
音がでない	● スピーカーコードが接続されていない。 ● MUTE(消音)機能が働いている。 ● ヘッドホンプラグが挿入されている。	●「接続のしかた」を参照して正しく接続する → 11 ● リモコンのMUTE ボタンを押し解除する → 34 ● ヘッドホンプラグを抜く → 34
右または左のスピーカーから音がでない	● スピーカーコードが接続されていない。	●「接続のしかた」を参照して正しく接続する → 11
放送を受信できない	● アンテナが接続されていない。 ● 適切な放送バンドが選ばれていない。 ● 放送局のある周波数を選んでいない。	● アンテナを接続する → 12 ● バンドを選ぶ。 → 36 ● 放送局のある周波数を選択する。 → 36
雑音が混信する	● 車のイグニッションノイズを拾っている。 ● 電子機器の影響を受けている。 ● テレビが本機の近くに置かれている。	●屋外アンテナを、道路から離して設置する。 → 12 ● 疑わしい電子機器の電源を切る。 ● テレビと本機の間を離しておく。
プリセットした放送局が、P.CALLボタンで呼び出せない。	● プリセットした周波数の放送局が、受信できない放送局である。 ● 電源コードを長い期間抜いてあったため、プリセットメモリーが消えた。	● 受信できる周波数をプリセットする。 → 37 ● もう一度プリセットし直す。
スタンバイインジケーターが赤く点滅する。	● スピーカコードの接続が正しくされていない。	● スピーカーの接続をチェックする。スピーカーの接続をチェックして、直らなかった場合には販売店、またはケンウッドサービスセンターにサービスを依頼する。
サラウンドスピーカーから音がでない。	● リッスンモードがステレオになっている。	● LISTEN MODEボタンでリッスンモードを切り換える。 → 28

DVD プレーヤー部

症　状	原　因	処　置
▶/❚❚ボタン（▶ボタン）を押しても、再生が始まらない。	● ディスクが入っていない。 ● 信号が記録されていない面を再生している。	● ディスクを入れて、▶/❚❚ボタン（▶ボタン）を押す。 ● ディスクを裏返して正しく入れ直す。
再生が始まっても、映像／音声が出ない。	● TVの電源が入っていない。 ● 接続コード類が正しく接続されていない。	● T Vの電源を入れる。 ● 正しく接続し直す。 →11
再生時、早送りで、画像が乱れる。	● 早送り、早戻し時は、多少画面が乱れます。	● 故障ではありません。
音が出ない。	● 音声出力コードが正しく接続されていない。 ● T V、アンプなどの音量調節がされていない。 ● 特殊な再生モードになっている。	● 正しく接続し直す。 →11 ● 適正な音量に調節します。 ● ▶/❚❚ボタン（▶ボタン）を押して通常モードにします。
きれいに映らない、画質／音質がよくない。	● 雑音源と思われる他の機器が、そばにある。 ● ディスクが汚れている。 ● ディスクに傷がついている。 ● 光学レンズが結露している。	● 本機と、雑音源と思われる他の機器をできるだけ離す。 ● "ディスク取扱上のご注意"を参照し、汚れをふきとる。 →10 ● 新しいディスクと交換する。 ● "露付きにご注意"を参照し、露を蒸発させる。 →10
再生が始まるまでに時間がかかる。	● ディスクの種類やサイズの検出、モーターの回転を安定させるためで、故障ではありません。	● ディスクによって異なりますが、約10〜20秒程度待ちます。
トレイが自動的にオープンする。	● ディスクが斜めに入っている。	● ディスクを入れ直す。
画面の上下が欠ける。	● 再生したいディスクのビデオフォーマットと接続したテレビのビデオフォーマットの関係が合っていない。	● "テレビ画面のビデオフォーマットについて"を参照し、正しいフォーマットのディスクと、テレビを使用します。 →9
字幕がでない。	● 字幕の入っていないDVDディスクを再生しようとしている。 ● 字幕モードがオフになっている。	● 字幕の入っていないDVDディスクは字幕が表示されません。 ● **SUBTITLE**（サブタイトル）ボタンを押して、字幕モードをオンにする。 →41
音声（または字幕）言語が切り換えられない。	● 複数の音声（または字幕）言語の入っていないDVDディスクを再生しようとしている。	● 複数の音声（または字幕）言語の入っていないDVDディスクは、言語を切り換えられません。
アングルを切り換えて見ることができない。	● 複数のアングルが記録されていないDVDディスクを再生しようとしている。 ● DVDディスクの複数のアングルが記録されていない部分でアングルを切り換えようとしている。	● 複数のアングルが記録されていないDVDディスクは、アングルを切り換えられません。 ● 複数のアングルは、特定の部分のみ記録されている場合があります。

DVD プレーヤー部

症　状	原　因	処　置
タイトルを選んでも、再生が始まらない。	● 視聴制限レベルが設定されている。	● 視聴制限の設定を確認してください。
視聴制限レベルが変更できない。	● 視聴制限で設定したパスワードを忘れた。	● 以下の手順でパスワードをリセットしてください。 ①リモコンのMENUボタンを押し、初期設定メニュー画面を表示させる。 ②「初期設定」を選択し、ENTERボタンを押す。 ③「デフォルト」を選択し、カーソル右(►)ボタンを押してRESETを選択する。 ④下のように数字ボタンを押す。 1, 3, 9, 7, の順に押し、ENTERボタンを押す。 工場出荷時のパスワードは“0000”に設定されています。
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	● 再生しようとしているDVDディスクに選んだ音声言語や字幕言語が入っていない。 ● DVDディスクで初期再生言語が指定されている。 ● DVDディスクの仕様でメニュー画面で選ぶようになっている。	● 選んだ音声言語や字幕言語が入っているDVDディスクに交換する。 ● リモコンのSUBTITLEボタンまたはAUDIOボタンで言語を設定する。 ● ディスクのメニュー画面で選ぶ。 → 41
希望の言語でメニュー画面のメッセージがでない。	● ディスクメニュー言語機能(MENU)で言語が設定されていない。	● ディスクメニュー言語を設定する。 → 25
VCDのメニュー再生ができない。	● プレイバック·コントロール付き以外のVCDを再生しようとしている。	● プレイバック·コントロール付きのVCD以外は、メニュー再生できません。
TV画面に"THE PLAYER IS LOCKED"と表示され(本体displayの、マークが点灯)、ディスクトレイのオープン/クローズ操作を受け付けない。	● 操作が禁止されている	● 本体の停止(■)ボタンを押しながら、リモコンのMENUボタンを数秒間押し続ける。"THE PLAYER IS UNLOCKED"と表示され(マークが消灯)操作ができるようになります。

リモコン部

症　状	原　因	処　置
リモコンで操作できない。	● 電池切れ。 ● 操作する位置が遠すぎる、角度がずれている。または障害物がある。	● 新しい電池に入れ換える。 ● 操作範囲内で操作する。

禁止アイコン

症　状	原　因	処　置
禁止アイコンが表示され、リモコンで操作できない。	●ソフト制作者が意図して再生制限状態にしてある。	●操作できませんので、他の操作をしてください。

本機は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭およびそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

本機は、すべての高解像度テレビと互換性があるというわけではないことをご了承ください。そのため、画像がみだれて表示されることがあります。
プログレッシブスキャン(525p順次走査)再生時に問題がありましたら、映像の出力形式を、通常解像度側に切り替えることをお勧めします。
525p DVDプレーヤーとの接続について、ご不明な点は、最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

定格

本体

[アンプ部]

ステレオモード
　実用最大出力 .... 55 W + 55 W (JEITA規格、8 Ω)
サラウンドモード（1チャンネル動作時）
　最大出力
　　フロント .... 55 W + 55 W (1 kHz, ひずみ率10 %. 8 Ω)
　　センター .... 55 W (1 kHz, ひずみ率10 %. 8 Ω)
　　サラウンド .... 55 W + 55 W (1 kHz, ひずみ率10 %. 8 Ω)
　　サブウーハー .... 100 W (100 Hz, ひずみ率10 %. 4 Ω)
入力感度/インピーダンス
　CABLE/SAT / VCR .... 250 mV / 27 kΩ
出力レベル/インピーダンス
　VCR .... 250 mV / 1 kΩ

[チューナー部]

FM チューナー部
　周波数範囲 .... 76 MHz ～ 90 MHz
AM チューナー部
　周波数範囲 .... 531 kHz ～ 1,602 kHz

[DVD/CD/VCDプレーヤー部]

読み取り方式 .... 非接触光学式読み取り（半導体レーザー）
波長 .... 640～660 nm (DVD)
770～810 nm (CD)
レーザーパワークラス .... Class 2
信号方式 .... NTSC 方式/PAL 方式
ワウフラッター .... 測定限界以下
ビデオ出力方式 .... NTSC/PAL
ビデオ出力
　映像出力レベル .... 1 Vp-p (75 Ω,同期負)
　S-映像出力
　　Y 出力 .... 1 Vp-p (75 Ω,同期負)
　　C 出力
　　　NTSC .... 0.286 Vp-p (75 Ω)
　　　PAL .... 0.300 Vp-p (75 Ω)
　コンポーネントビデオ出力/インピーダンス
　　(Y-信号) .... 1 Vp-p (75 Ω)
　　(C/b-信号) .... 0.7 Vp-p (75 Ω)
　　(C/r -信号) .... 0.7 Vp-p (75 Ω)
圧縮方式 MPEG1/MPEG2

[電源部、その他]

電源電圧・電源周波数 .... AC 100 V、50 Hz / 60 Hz
定格消費電力（電気用品安全法に基づく表示） .... 100 W
最大外形寸法 .... 幅： 400 mm
高さ： 78 mm
奥行： 390 mm
質量（重量） .... 5.0 kg (正味)

スピーカー部（KSW-6200）(フロント/センター)

エンクロージャー .... バスレフ型
防磁 .... あり (JEITA規格)
スピーカー構成
　フルレンジ .... 80 mm、コーン形
インピーダンス .... 8 Ω
許容電力入力値（DVR-6200） .... 55 W
最大外形寸法 .... 幅：100 mm
高さ：180 mm
奥行：124 mm
質量（重量） .... 0.9 kg (1 本)

スピーカー部（KSW-6200）(サラウンド)

エンクロージャー .... バスレフ型
スピーカー構成
　フルレンジ .... 80 mm、コーン形
インピーダンス .... 8 Ω
許容電力入力値（DVR-6200） .... 55 W
最大外形寸法 .... 幅：100 mm
高さ：180 mm
奥行：124 mm
質量（重量） .... 0.7 kg (1 本)

スピーカー部（KSW-6200）(サブウーハー)

エンクロージャー .... バスレフ型
スピーカー構成
　ウーハー .... 160 mm、コーン形
インピーダンス .... 4 Ω
許容電力入力値（DVR-6200） .... 100 W
最大外形寸法 .... 幅：170 mm
高さ：355 mm
奥行：341 mm
質量（重量） .... 5.2 kg

メモ
1. これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
2. 極端に寒い（摂氏0度以下の）場所では、十分に性能を発揮できないことがあります。

保証書(別途添付)

製品には保証書が(別途)添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。(お問い合わせ先は、「ケンウッドサービス網」をご覧ください。)

補修用性能部品の保有期間

当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。
付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

修理を依頼される時は

「故障と思われる症状ですが...」に従って調べていただき、なお異常がある時は、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービス窓口が修理をさせていただきます。
修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理/持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号(Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

保証期間が過ぎている時は

保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- 技術料:故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代:修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料:製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- 送　料:郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

お買上げ店名

電話(　　　　)　　　-

ケンウッド サービス網

2003年8月現在

製品に対するお問合せ、アフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお申しつけください。

北海道

札幌サービスセンター	〠007-0834	札幌市東区北34条東14-1-23	☎(011) 743-7740

東北

仙台サービスセンター	〠984-0042	仙台市若林区大和町5-32-12(サンライズ大和)	☎(022) 284-1171
盛岡サービスステーション	〠020-0124	盛岡市厨川4-5-11	☎(019) 646-2311

関東・甲信越

埼玉サービスセンター	〠362-0032	上尾市日の出3-9-1	☎(048) 775-9730
千葉サービスセンター	〠277-0081	柏市富里1-2-1	☎(04) 7163-1441
東京サービスセンター	〠169-0073	新宿区百人町2-16-15(MYビル1F)	☎(03) 3363-1650
神奈川サービスセンター	〠226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎(045) 939-6242
静岡サービスステーション	〠420-0816	静岡市沓谷5-61-1	☎(054) 262-8700
新潟サービスステーション	〠950-0923	新潟市姥ケ山1-5-37	☎(025) 287-7736

中部

名古屋サービスセンター	〠462-0861	名古屋市北区辻本通1-11	☎(052) 917-2550
金沢サービスステーション	〠920-0036	金沢市元菊町21-87	☎(076) 265-5045
松本サービスステーション	〠390-0832	松本市南松本2-7-30(昭和ビル2F)	☎(0263) 26-7331

近畿・四国

大阪サービスセンター	〠532-0034	大阪市淀川区野中北2-1-22	☎(06) 6394-8075
高松サービスステーション	〠760-0068	高松市松島町3-1	☎(087) 835-2413

中国

広島サービスセンター	〠731-0137	広島市安佐南区山本1-8-23	☎(082) 832-2210

九州

福岡サービスセンター	〠815-0035	福岡市南区向野2-8-18	☎(092) 551-9755
鹿児島サービスステーション	〠890-0063	鹿児島市鴨池2-15-10(パレス鴨池1F)	☎(099) 251-6347
沖縄サービスステーション	〠901-2132	浦添市伊祖1-5-2	☎(098) 874-9010

カスタマーサポートセンター	〠226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎ (045) 933-5133	FAX (045) 933-5553
カスタマーサポートセンター大阪	〠532-0034	大阪市淀川区野中北2-1-22	☎ (06) 6394-8085	FAX (06) 6394-8308

- ケンウッドサービス窓口　営業時間のご案内
  月曜日～金曜日（土曜、日曜、祭日及び当社休日を除く）午前10時から午後6時まで
- カスタマーサポートセンター　営業時間のご案内
  月曜日～金曜日（土曜、日曜、祭日及び当社休日を除く）午前9時から午後6時まで

（ 各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください）

KENWOOD

株式会社ケンウッド

〒192-8525　東京都八王子市石川町 2967-3

商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

カスタマーサポートセンター	電話(045) 933-5133	FAX(045) 933-5553	〒226-8525	横浜市緑区白山1-16-2
カスタマーサポートセンター大阪	電話（06）6394-8085	FAX（06）6394-8308	〒532-0034	大阪市淀川区野中北 2-1-22

アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、「ケンウッドサービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。